


2020年6月15日発行(毎月15日発行)
1987年3月23日第3種郵便物認可
ISSN 1880-4993

登山時報

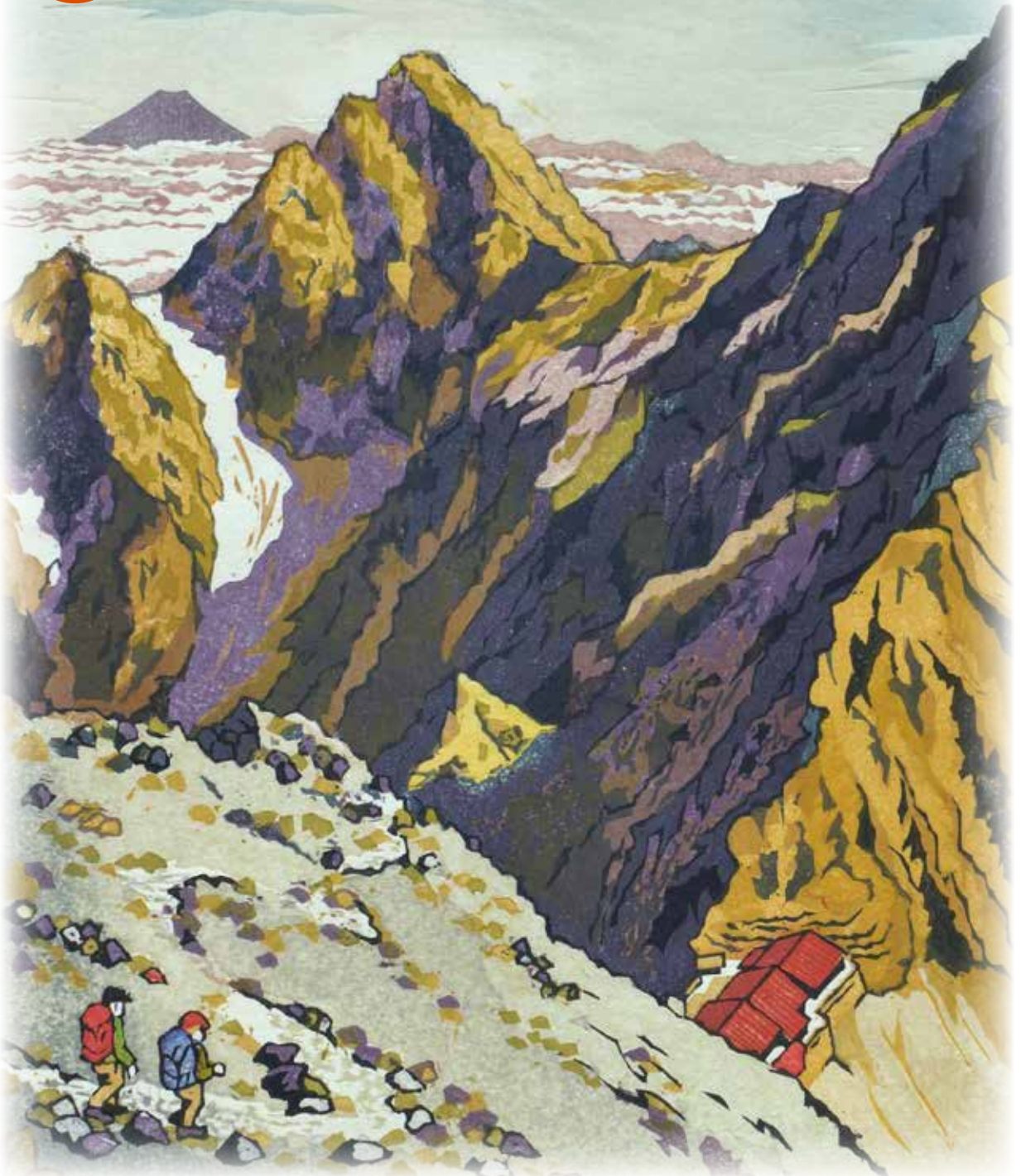
 日本勤労者山岳連盟

7

2020
No.545

鳥海山、月山 憧れの2山を歩く

座談会「あなたは水没した仲間を救えますか？」



政府の緊急事態宣言全面解除を受けて 山岳スポーツ愛好者の皆様へ

本日（令和 2 年 5 月 25 日）、政府は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の全面解除を発表しました。国民、そして山岳スポーツ愛好者にとっては待ちに待った宣言解除です。山岳スポーツ自粛をお願いしてまいりました山岳四団体として、自粛要請の重要性をご理解いただき、ご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

自粛解除後の山岳スポーツ再開にむけて基本的なガイドライン（指針）を下記に示しました。より詳細なガイドラインにつきましては自治体、所属の山岳団体、山岳会等のガイドラインを参考にしてください。ガイドライン遵守は、山岳救助関係者、医療関係者、山域圏内の住民、そして山岳スポーツ仲間への相互感染を防ぎ、予想される第二次感染症拡大防止に貢献します。

全面解除を受けても新型コロナウイルス感染の危機は常に存在します。

引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

「自粛」要請解除後の登山・スポーツクライミング活動ガイドライン 感染させない、感染しないために

1. 近距離（100km 圏内程度）のできるだけ都道府県を跨がない日帰り登山から始めましょう。
2. 体調不良（平熱を超える発熱、悪寒、倦怠感、息苦しさ、咳等）での登山は止めましょう。入山後にコロナ感染発症すると命に関わり、救助隊、収容先地元医療機関に多大の迷惑を及ぼします。
3. 登山は、少人数で行いましょう。（パーティーは、当面 5 名以内で）
4. 自粛期間中、季節や地震による山容の変化、登山道の荒廃など思わぬ危険が潜んでいます。十分な登山ルートの下調べと地図、コンパスの持参、登山届けは必ず提出し、家族にも残しましょう。
5. 登山中でもマスクを着用しましょう。マスク着用時は、熱中症及び脱水には十分留意し、こまめに水分摂取を心がけましょう。
6. 登山、クライミングジムでのソーシャルディスタンスを守りましょう。一般的には 2m 前後ですが、登山中の場合は、さらに距離が必要と言われています。また、クライミングジムでは建屋構造、利用人数等で制限がありますので、ジムの指針に従って行動してください。啞えロープ、滑り止めなどもジムの方針に従ってください。
7. 登山山域内での買い物や、下山後の呑み会等も地元住民への感染防止の観点から控えてください。食材、飲料、緊急食などは出発前に揃えておきましょう。
8. 自粛中に衰えた筋力、体幹を鍛えましょう。

今回の世界的新型コロナウイルス（COVID-19）の蔓延により、社会構造、経済が大きく変化し、それに対応する新しい生活様式の確立が必要になりました。登山もスポーツクライミングも新しい視点からの活動指針が必要です。

山岳四団体でも皆様方のご協力を得ながら、安心で安全な山岳スポーツの再興を目指し努力してまいります。

自粛期間中の皆様のご協りに重ねて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和 2 年 5 月 25 日

山岳四団体

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

日本勤労者山岳連盟

公益社団法人 日本山岳会

公益社団法人 日本山岳ガイド協会

東北

鳥海山、月山

憧れの2山を歩く

遠藤春代／静岡勤労者山岳会



鳥海山から見る雪形。雲の下に親鳥小鳥が3羽

梅雨の合間をぬって、静岡から労山仲間4人で憧れの鳥海山、月山に行ってきました。

6月23日5時に出発し、山形、秋田の観光を入れて、16時に山形県西浜キャンプ場に着きました。遠出するときは観光もプラスすると楽しい。テントを張り、地のものを買いに出かけました。名物の岩ガキを食べてゴキゲン。買ってきた地魚料理を夕食の一品としました。

鳥海山でホワイトアウトを

初体験

翌日は3時半に起床して鳥海ブルーラインで銚立パーキングへ。メジャーな「象潟口コース」で登ります。5時半にスタートし、10分ほど歩いて展望台へ。遠くに見える白糸の滝、その後ろには薄っすらと鳥海山が見え、心が躍る。石段を上って行くと、道の周辺にシラネアオイ、ハクサンチドリなどの花が咲いてい

ます。

賽の河原あたりで残雪帯が出てきました。さらに、ガスガスになり10m先が見えなくなりました。道の左側は谷で、少し右にルートを取っていたところ、コースからはずれてしまったらしい。とにかく落ち着いて、深呼吸!!道を探し、歩き始めるころには少し晴れてきました。初めて体験したホワイトアウトは15分ぐらいだっただでしょうか。とても長く感じられました。

七五三掛からは雪のある千蛇谷コースと私たちの登る外輪山コースに分かれます。雪形をずつと見ていたい気持ちになります。が、まだ先は長い。外輪山側の最高峰七高山に10時10分到着、新山へ。新山頂上と頂上から少し離れたところにある岩峰は、どちらも素晴らしい眺望です!

帰りは千蛇谷コースを滑るように下ってきました。気持ちいい。朝の雪と違って真っ白。今朝ホワイトアウトだったところで地形や赤旗等を確認しながら

反省して駐車場に戻りました。

この日は羽黒山キャンプ場で泊まり、翌日、さあ月山に出掛けましょう。

月山でもお花と

残雪に迎えられる

霧雨のためテンションが上がらないが、「こんな天気も雰囲気があるよね」と思いながら、6時に月山8合目のパークキングから弥陀ヶ原へ出発。池塘が迎えてくれました。湿原には、水芭蕉、ニッコウキスゲなどの高山植物

が咲いてとてもきれいです。

シラネアオイの花がなくなっと思っただけで、た。ロープが張ってある残雪帯が終わる



鳥海山頂上付近からの絶景



千蛇谷の雪渓



と、シオガマの花が咲き乱れていて緊張が少し解ける。青い空のもと眼下に山や雲を見ながら歩くのは気持ちいいです。

9合目仏生池小屋付近で一休み、残りの行程は半分。「行者返し」を登り一休み。山頂に続く木道を気持ちよく行きたいところですが、横風で落ちそう。木道が終わると、最後はやっぱり雪道でした。霧雨も降ってきて山頂までが長く感じられました。

鳥海山、月山

憧れの2山を歩く



月山 山や雲を見ながら残雪帯を歩く



月山 三角点を探してタッチ

弥陀ヶ原 Po

仏生池小屋

月山

2018年6月23日(土)～25日(月)
 6/23 5:00 静岡発= 16:00 西浜キャンプ場泊
 6/24 5:30 鈴立P～7:20 御浜小屋～10:10 七高山～11:25 新山～15:20 鈴立P=16:50 羽黒山キャンプ場泊
 6/25 6:00 弥陀ヶ原P～7:50 仏生池小屋～9:00 月山～12:00 弥陀ヶ原P=食事、観光等
 6/26 0:05 新静岡IC(深夜割引)
 メンバー: CL 原田、望月、堀井、遠藤

9時びったりりに月山神社本宮に到着です。黄色い花とウスユキソウが迎えてくれました。眺望は残念ながらありません。頂上小屋がぼんやり見えるだけでした。天気が良かったら鳥海山のように絶景のはずです。三角点を探してタッチしてから下山。いつの間にか霧雨も上がり、先程通り過ぎた仏生池小屋でまったりコーヒータイムです。昨日から営業始めたばかりで、ご主人は歩荷に出かけているとのこと。奥さまとの楽しいお話であつ

という間に時間が経ってしまいました。弥陀ヶ原へは朝と違う御田ヶ原参籠所方面の道を下り登山口には12時ごろ到着しました。時間調整をして、高速深夜割引の利く26日午前0時過ぎ新静岡ICに着きました。絶景とともに、ホワイトアウトも記憶に残る山行となりました。

原始の山をのぼる

北海道の山と谷

殿平厚彦

札幌中央勤労者山岳会 / 道央「山と谷作成会議」代表

第2回



どの滝もきれいで登りやすい

日高山脈の名溪 !! (中級)

ペテガリ沢 A 沢

日高の沢はどれをとっても素晴らしい進行を約束してくれる。中部日高は難度の高い

素晴らしい名溪が多いが北部、南部はぐつと優しくなり、中級以下の楽しめる沢も多くなる。日高の沢はイワナ、オシロココマが多く釣

泊で遡行するワイルドな沢旅が楽しい。ここでは、日高の名峰ペテガリ岳へ突き上げるペテガリ沢 A 沢を紹介する。ペテガリ沢は、「遙かなるペテガリ岳」として知られている中部日高の名峰ペテガリ岳へ突き上げる素晴らしい沢である。入り

りもできるので、山中

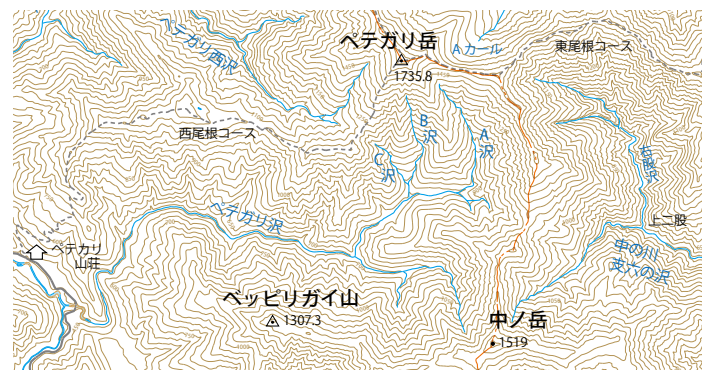
下は西尾根の長い夏道を降る。遥かなる沢旅だ。

1日目…神威山荘を出発、元浦川林道を経てペテガリ橋から入渓する。出だしの函は地形図で見ると険悪な函ではない。B 沢の出合付近で C1 とする。



きれいな沢を遡行する

2日目…いよいよ核心の A 沢遡行だ。次々に出て



夏尾根

幌尻岳

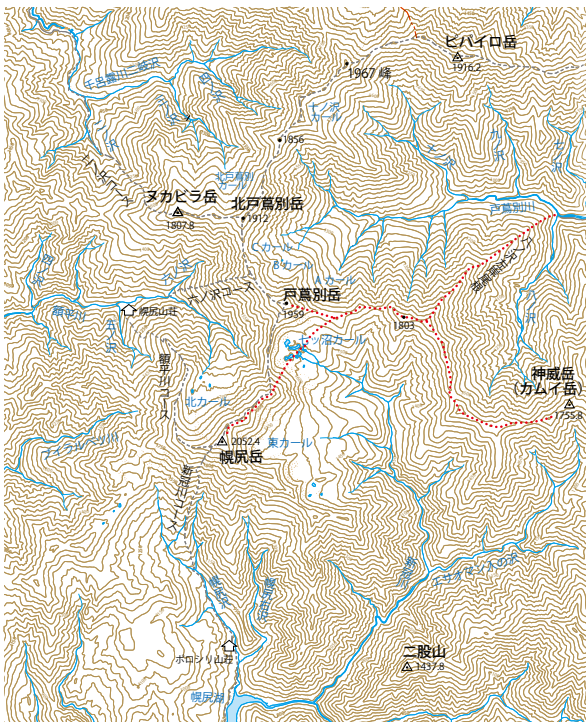
日高山脈の最高峰

幌尻岳は日高山脈最高峰であり、100名山で有名だが、ガイド登山で利用する登山路が沢を（額平川）使うので事故も多い。ここでは地元登山者が比較的多く使う別のコースを紹介したい。

このコースがあまり知られていないのは、隣の北戸蔦別へ登るコース



ヌカビラ岳から見る戸蔦別岳



として紹介されているからである。北戸蔦別岳へ登れば幌尻岳は指呼の距離なのだ。しかも日高山脈でもっとも有名で素敵な「七つ沼カール」に宿泊できる。七つ沼カールは北海道の登山者なら一度は泊まってみたいと思っっているほどだが、一般コースからではここに泊まるプランにはならない。ぜひこのコースを歩いていただきたい。

林道終点まで車で入り出発する。沢筋の登山道を歩き、尾根に取り付く。急な登りをヌカビラ岳へ、少し歩いて北戸蔦別岳に着く。目の前が鋭い戸蔦別岳でその先に主峰幌尻岳が眼前に迫る。戸蔦別岳を越えたと左下に七つ沼カールが見え、明瞭なトレイルがカールの底まで付いている。一日目はカールの底で夢を結ぼう。

◎取水ダム（5h）北戸蔦別（1.5h）戸蔦別岳（0.5h）七つ沼カール

2日目…荷物を稜線に置いて幌尻岳を往復する。今日は帰るだけなので

ゆっくり歩こう。

◎七つ沼カール（2h）幌尻岳



七つ沼カールは一度は泊まっていたい別天地だ

NO LIMIT

限りなき山行

18

文 近藤和美
写真 近藤圭子・和美

アマダブラム再挑戦②

21年ぶりのメラピーク中 (中)

10月27日、カトマ
ンズを発つ。幸い数
少ない直航便でルク
ラへ飛べたが、到着

事前調査ではこの先は分水山
脈上のザトルワラ峠を越えた先、
チャトラブまで宿がないとのこ
とだったが、実は途中に宿泊所
が出来ていると知り、安堵する。

は午後になった。新たにポーター
2人を雇用し、総勢5人で出発。
初日の宿チュテンガでは長野の横
沢邦子さん、北村陽子さんペアと
出会い、以後カールまでほぼ行程
を同じくしながら進むこととなっ
た。

28日、樹林帯を脱し、広大な
クーンブ(エベレスト)山群の水
を一手に集めて流下するドウ
ドウコシ谷を背後に見下ろしな
がら登ると、やや行程は短い
がカルカテンに着く。ごく近年に
営業を始めたようで、今はまだ
大部屋と食堂があるのみ。我々
は個室希望客がある時に設営さ
れるテントで快適に眠った。

29日、後方にロールワリン山
群を望みながら支稜上のザトル
ワラ前峠を越えて裏側の岩礫斜
面を斜上横断。
主脈上の本峠を越えるとイン
クコーラ谷側への下りとなる。

下り着いたチャト
ラブは21年前には小
さな営業小屋が1軒
だけあったが、今は
立派なロッジが何軒
も建っていた。

30日、インクコー
ラの谷底への下降開
始。支尾根を回り込
むと初めてメラ山群
が見える。

石楠花林の途中の
一軒宿タクトルで昼
食。さらに川沿いま
で下り切った後、西
岸沿いに遡る。

到着したコテは21
年前には軽食を出す
程度の簡易な造りの
茶店があっただけだ
が、今はロッジが立
ち並び、その一つに宿泊。

31日、休養日、コテに滞在。

11月1日、行動再開。引き続
き川沿いに北上。サウレで昼食
後、樹林帯を脱した谷筋を遡上
し、谷が大きく開けた今宵の宿

泊地、タンナグに到着。ここも

何軒もの山小屋が営まれている
が、21年前は無人の作業小屋が
いくつかあるのみだった。

谷はここで三分し、左は峻峰
クスムカングル方面へ、正面は



メラ・ピーク アプローチ図



ザトルワラ前峠 (4500 m) にて長野の女性ペア (左側) と



ディクカルカから仰ぐキャシャール（左）



タンナグ付近から仰ぐクスムカングル

鋭鋒キャシャール方面へ、そして右折するのがメラピークの北面方向へのディクコーラだ。2日、広くなった浅いU字谷のディク川沿いに遡る。途中のディクカルカで昼食後、前に来た時には全く宿泊施設な

どなかったカールに到着。今は大きなロッジが立ち並ぶここがBC地となる。ここまでは4日目ややや長丁場になる以外は毎日比較的短めの行程であった。我々はマウンテンビュー・ホテルに投宿。ツインとシングル

トも利用できるほか、各種高所登山装備や防寒衣服もレンタル出来るので、メラの登山許可を取ったうえで、ここまではトレッキング仕様で来てしまうことも可能だ。

各10室ほどと大食堂を備え、安泊まりたい人向けにはロッジが管理するテナ前に肺がんで死去。愛煙家だった）の長弟で、ダゴンブ氏の思い出話を語り合った。いよいよ高所領域に入るの、我々は小刻みに休養日を入れる計画で、明日は休むことにした。

4日、高

度順応日。カールを出発し、草付きと巨岩帯を斜上。5200m辺りで多数のテナトが張られた開けた場所に出る。より上部にBCを置きたい顧客向けに供用されるもので、これもカミ氏の管理だという。氏は5800m地点にもハイキャンブ(HC)のテント群をカールの宿主たちと共同運営しており、なかなかの商才の持ち主だ。この先しばしで、行く手は氷雪斜面となる。アイゼンを着けて斜面をたどり、広い尾根上のメラ・ラ(峠)に出る。98年はこちらにHCを置いて頂上を往復したものである。なお、峠を越えてホンダコーラに下り、遡ればバルンツェBC方面に至る。広い雪の尾根筋を5600m付近まで登ると、長野ペアがやって来た。元気な彼女らはHCを目指し、明日山頂アタックとのことで健闘を祈り合って上下に別れ、我々はカールに引き返す。5日は再び休み、翌日からの登頂活動に備える。



原田勇成の

白神便り

| 第 35 回 |

白神の赤い鳥

この原稿を書いている今現在(5月9日)、少し落ち着きが見られてはいるが、新型コロナウイルスによる全国緊急事態宣言は維持されたままだ。私のホームグラウンドである十二湖エリアも4月下旬から5月11日まで道路封鎖され、例年であれば、新緑を楽しむ旅行者で賑わっているはずが、人の声一つない静かな春が進んでいる。動物たちは人間に邪魔されることなく、せっせと繁殖期を過ごせているだろう。だが、いくら静かな森はいいと言ってみたところで、白神山地一番の人気観光地に人がいないのはやはり異常である。この記事が掲載される7月までには100%とは言わないが、限りなく終息に近づいていることを願っている。

そして今回であるが、実はいつ

も以上に写真選びに苦心した。皆さんを少しでも元氣付けられる内容をと生意気にも考えてしまったから。でも、私にそのような力などあるはずもない。考えた末、一番好きな被写体に思いを託すことにした。

そもそも私が愛するのは、当たり前のようにここに在るブナの森と、ここに生きるすべての動植物たちだ。今となつては日本中から姿を消している命が、当たり前のように残っている奇跡。「あるべき物がある」ことの大切さを肌で感じられる森なのだ。その中にあって、私を惹きつける存在が本連載二度目登場のアカシヨウビンだ。何処からともなく響く美しい声と、想像を超える赤の衝撃。今年も元通りの十二湖で再会したいと思っている。

登山時報

7 JULY.2020
No545

CONTENTS

- 01 東北・鳥海山、月山 憧れの2山を歩く 遠藤春代
- 04 連載 北海道の山と谷 殿平厚彦
- 06 連載 NO LIMIT 限りなき山行 近藤和美
- 08 連載 白神便り 原田勇成
- 10 ふみあと 今野善伸
- 11 沢登り重大事故に関する座談会②
あなたは水没した仲間を救えますか？
- 16 沢登り中の事故統計 石川昌
- 18 連載 無くしたい行方不明・死亡事故シリーズ 北島英明
- 20 連載 アドベンチャー・トラベル 大蔵喜福
- 22 連載 労山創立60周年に寄せて 塩田幸助
- 24 読者アンケート結果集計②
- 26 連載 山登りのためのやさしい気象講座 野尻英一
- 28 連載 子づれ山さんぽ 武井真理
- 29 全国連盟の活動
- 30 専門委員会活動報告
- 32 マンガ フウフウハアハア 村松孝一
- 33 連載 中国の青いケシ探訪記 松永秀和
- 34 連載 地図読み迷人 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 ギリシャ・ヴィコス渓谷 石橋を巡りザゴリの森をハイキング 和食昭夫
- 38 連載 ネパール温泉紀行 石原裕一郎
- 39 筑井孝子のちょっと絵をうまく描こう / あらかると 石井光造
- 40 連載 オススメ山道具 コロナ時代の山登り 笹原芳樹



表紙の木版画
「富士遙か」
杉山修

穂高連峰、涸沢岳から穂高岳山荘に向かって降りてゆくと、前穂高岳北尾根の肩の遙か奥に霊峰富士が望める。日本人にとって富士は特別の山である。各地の山から富士が望まれるが、この山を写すこと、描くことをライフワークにしている人が大勢いる。富士は特別な山である。



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク
(大豆油インク)を使用しています。

ふみあと

20世紀の登山文化

文化とは、人間の生活の営みにかかわる様式、物心両面の成果といえる。登山文化は日本文化や企業文化などと同じサブカルチャーである。登山文化となると、地理学的な山、山と暮らし、歴史、山岳宗教、山を舞台に紡ぎだされる詩歌などの文学、写真・絵画などの芸術が思い浮かぶ。そして、広範な登山活動である。一言でいうと、山岳の自然と山がもつ多義性^①とが織りなす文化的紋様である。登山バージョンは、「運動論」というバイアスが加わって「登山の大衆化」権利としての登山「登山の多様な発展」が

形成された。

21世紀の登山文化の視点

さて、21世紀の登山文化は、20世紀の登山文化の上に新たな視点が加わる。一つは、趣意書にある「健康は基本的人権」としての登山はますます重みを増してくる。二つ目は、「IT技術と登山」の発達である。計画書の作成から提出まで、入下山の山行管理、山行中の位置測定、あれば便利なモノから必需品^②になってくる。遭難救助もココヘリはおろかドローン・ロボットの導入が進む。勿論、テクノロジには落とし穴があり、IT山岳遭難の対策を講ずる必要が

ある。三つ目は、「登山の捉え方」が変わるだろう。登山をやるのに理屈が必要？「面白そうだから」楽しそうだからが新人類だ。誤解を恐れずいうと、登山のルールを知っている人より、登山が好きな人より、登山を楽しんでいる人が一番だということ。孔子（注1）もホイジンガー（注2）もその通りだと。

（注1）知^チ之^ノ者^ノ不^レ如^ク好^ム之^者、好^ム之^者不^レ如^ク樂^ム之^者（これを知らぬ人は、これを好きな人には及ばない。これを好きな人も、これを楽しむ人には及ばない。）

（注2）「文化こそ遊びから生まれる」と主張。言い換えると、遊びにより人間行動、人間文化のすべてを説明できると考えている。人間は子供のうちは楽しみのために遊び、真面目な人生のなかに立てば、休養、レクリエーションのために遊ぶ。

（今野善伸／日本勤労者山岳連盟 副理事長）

5月号ふみあとに誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

2段目6～7行目

誤）石田良恵さん（日本ウェルネススポーツ大学講師）

正）石田良恵さん（日本ウェルネススポーツ大学教授）



大常木谷事故の現場・山女魚淵

沢登り重大事故に 関する座談会

あなたは水没した 仲間を救えますか？

危険を予見できない沢？

ロープワークは？

ライフジャケットは？

前号から続く

事故発生の場合、 可能な範囲で救助活動を！

―途中、司会から埼玉県連盟沢ネットワークの八ヶ岳・立場川事故（注6）が紹介された。この事故では、事故者は1日半余り生存していたと思われる。当時の救助活動について、（長野）6mm×50mロープでは懸垂下降できても、事故者の引き上げはできない。（石川）支点が取れなかった？ハンマー・ハーケン持参

は当たり前。（吉谷）生存者たちは救助活動をしていない。事故現場を離れてしまい事故現場が分からなくなっている等、批判が集中した。その後、再び大常木谷事故の話題に戻った。―

長野（スライドを見せて大常木谷事故現場・山女魚淵の解説をしながら）手前の釜から奥の滝まで20mくらい、途中まで水深は150cmくらい、事故検証時にはあえて泳いでいますが、足はつきまです。ガイドブックでは

釜を突破して滝まで泳ぐと書いてありますが。通常はロープを着けてラストを引っ張れば通過できる淵ですね。

注6：立場川事故：2017年8月12日午後4時頃、長野県八ヶ岳山系の立場川、標高約2300mで発生した。遡行中の埼玉県連盟沢登りネットワークの3名パーティのうち、66歳男性がアイゼンを装着して岩場を通過中、バランスを崩して約50m転落。翌々日の8時頃、県警ヘリで救助されるが、死亡が確認された。事故者は沢を始めて1年目で、それまで2回しか沢の経験のない初心者だった。さらに、死因は低体温症。遭難翌日の夜半まで生存していたと思われ、同行者の事故発生場所の錯誤や地図の見間違いなどで県警救助隊との連携が遅れたとの見方もある。



出席：吉谷隆男（兵庫県連盟 理事長）
戸田祐一（アルペン芦山/兵庫 山行部副部長・事故調査委員）
柳下修（東京都連盟 安全対策委員長）
館野健司（銀座山の会/東京 リーダー部長）
長野弘志（銀座山の会/東京 リーダー部安全対策係）
白井邦徳（全国連盟 遭対部員 ※座談会時は遭対部長）
石川昌（全国連盟 遭対部長）

司会：田上千俊（登山時報 編集委員）

開催日：2020年2月16日

会場：全国連盟事務所1階会議室

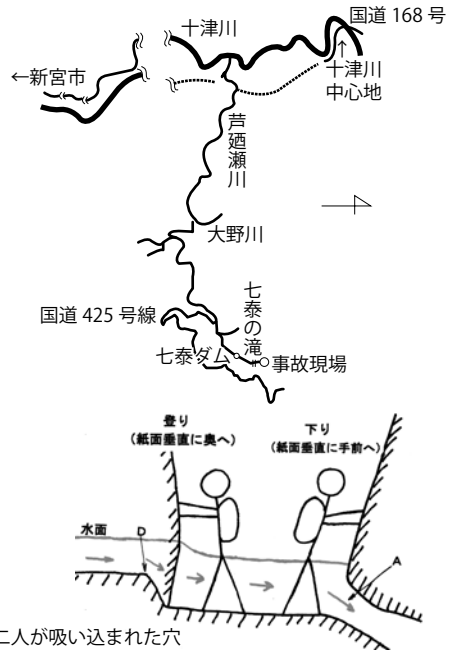
主催：全国連盟、主管：全国遭対部・登山時報編集部

(再掲)

奈良県 十津川・芦廼瀬川事故

2018年9月17日、53歳男性H (CL 沢歴13回ほど)、66歳男性K (SL ベテラン)、42歳女性M (入会して1か月、沢歴2回) のパーティが、午前8時頃入渓。9時まで、七泰の滝上部のゴーロ帯の曲がりくねった沢の上部まで遡行する。この間2回ロープを出す。前方に15mの横滝が現れた時点で、Hから「水量も多く下降も大変だから遡行を中止しよう」との判断があり、9時頃、H、M、Kの順番で下降を開始する。途中、Kがトップとなる。七泰の滝手前で、Kが大岩に沿って水中をトラバースした時、足を取られそうになり、後続のMに危険を告知した。すぐ後に振り向いた時、Mが吸い込まれたのが見えた。KとHが付近を捜すがMは見つからず、大岩まで戻る時にH自身も吸い込まれる。

翌18日、Hの遺体が確認され、19日に搬出された。Mは事故の3か月後、下流ダムで発見された。



A: 二人が吸い込まれた穴
D: 30cmほどの段差
グレーは水面や水の流れを示す

釜の還流渦で引き上げられない

司会 事故の検証では、釜の還流渦などの調査でフロートなどを使ったんですね。

長野 救助者が事故者をロープで引き上げるテストをしたんですが、一人では引き上げられませんでした。

吉谷 ロープをゆるめたら、下流へ流れませんか？

長野 昨年の検証で、泡立っているところは水流が回っており、流れませんでした。TはRを引き上げられないので飛び込まざるを得なかったんだと思います。

戸田 Tは、ロープでRを引き上げられないとなつて、ロープを流したんですか？

長野 流したか否かは確認できていません。我々の検証では、流しても流れませんでした。

司会 還流渦でグルグル回ってしまうんですかね。

館野 もう一人下流におれば、引つ張れたかもしれません。

長野 昨年11月の都連盟遭難対策研究会(都遭対研)でも論議されましたが、メンバーの数に関係なく、ラストが溺れば、事態は同じです。

ラストの泳ぎは「ザックピストン方式」で

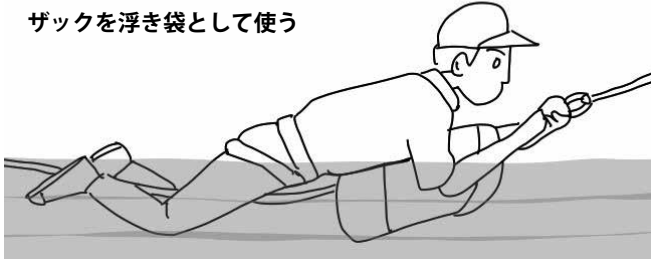
館野 ラストが溺れないためにはどうしたら良いか、いろいろ検討しました。体ではなく、ザックにロープを着けて、それに乗って引つ張ってもらおう「ザックピストン方式」(図参照)なら突破できた可能性があると思います。事故当日は、90mm程度の降雨で増水していました。Rは、Tが出したロープで引つ張られている途中に水を飲んで溺れた可能性はあります。また、低体温も否定できません。

司会 Rは水中に長くいたという事ですね。古沢沢事故から10年経ちますが、私はこの事故と似ている気がします。白井さん、

いかがですか。

白井 かなり似ていますね。古
札沢事故の報告書がもつと各会
で共有されておれば、今回の大
常木谷事故は起きなかつたかも
しれませんね。

館野 前回の遡行では、山女魚
淵の右岸を高巻き（注7）3時
間ぐらいかかったので、一晩ビ
バークしていますね。Rは155
cmくらいの小柄、ここ数年厳し



ザックを浮き袋として使う

ザックピストン方式
（若林岩雄著『沢登り ヤマケイ登山学校 11』130 ページ参照）

い山行はやっていないようです。
沢も1シーズン2本くらい。

司会 1シーズン10本以上は入
渓しなければ技術が落ちると言
われている沢登りですが…。

それでは、そろそろまとめを。
ポイントでは、初心者を含んだパー
ティの「遡行スタイル」の安全
を担保するためには何が必要か
ということでしょうか？

吉谷 沢の特徴によっても違い
ますね。滝も、使える残置ロー
プやスリングなどがあるかどう
かで安全度は変わってきます。問
題は昔廻瀬川事故のアルペン芦
山の会体制ですね。アルペン芦
山の沢グループはベテランが運
営しているということで「聖域」
みたいになっている。運営委員
会も沢グループに対して、なか
なか意見が言えなかつたという
報告があります。

司会 沢グループは何人くら
い？

戸田 全体で70名弱の会員のう
ち、6名ですね。その人たちが
中心となって山行を企画し、そ

れに数名の一般会員が参加する
という状況。

司会 死亡したMはその数名の
一人という事ですね。

戸田 そうです。Mさんは入会后
1カ月の初心者でした。ほとん
どの会員は沢はやりません。事
故の教訓としては一般的な安全
管理などの問題は会の運営に
反映しましたが、狭い意味での
沢固有の問題の教訓と、それに
基づく再発防止策については沢
グループが休部状態であるので
未解決です。具体的な対策案が
出てくるまでは、会としては「沢
はやらない」ということです。

初心者同行の場合、 パーティの総合力でフォローを

司会 初心者を沢に連れて行く
とき…、館野さん、どうでしょ
うか？

館野 確実に上流から確保でき
て、水量の少ない、滝中心の沢
なら、かなり安全に遡行できま
すね。ただし、横移動の多い沢、

つまり、ヘツリ（注8）や泳ぎ
の多いかつ水量の多い沢は、危
険性を排除できませんね。強い
て言えば、真ん中に初心者、ラ
ストはベテランですかね。

司会 簡単に言って、ベテラン
二人に初心者一人ということ…。
長野 初心者同士で行くことは
あり得ないですから、一般論と
してベテランと行ってください
ということですね。

館野 沢パーティは、登攀力の
ある人、泳ぎが得意な人、いろ
んな人が集まって総合力で遡行
する。これが大切ですね。

司会 若い人でクライミングジ
ムである程度技術を身につけ、
その流れで沢にも行く人がいま
すね。

戸田 そうですね。Mもクライ
ミングはうまかつたみたいです。
それで誘われた。

長野 そういう人は育てたくな
るし、運動能力が高ければイケ
るかなと思ってしまう。

戸田 クライミングがうまいか
らといって、沢に通用するかと

注7：高巻き：直登困難な滝やゴルジュを避けて、その場所を巻くように尾根に出て、再び川床に降りること。あまり大き
く巻くと降りるときに厳しくなるので、可能な限り小さく巻くのが原則。

注8：ヘツリ：水際の岩壁にへばりつくように横に進むこと。沢以外（縦走など）ではトラバースという言い方をする。

いうと、また別の世界ですからね。

司会 白井さん、ライフジャケットの件ですが、縦走のヘルメット同様、泳ぎのある沢では義務付けるといふ考え方はどうなんでしょう？

白井 私は使った経験がないか

らコメントできません。ヘルメットは沢でも使ってもらいたい。

館野 泳ぎのある場合、ヘルメットは外した方が良いでしょう。ザックもコンパクトな方が泳ぎやすい。ザックの防水ですが、中身を個別に防水するとザックの中に水が入ります。泳いで水から

上がる時に、ザック内の水の重さで釜から立ち上がれなくなつた例があります。ザック自体にきちんと水抜きするとか、ザック全体の防水をキッチリやるかです。

ライフジャケット万能論は危険

館野 ライフジャケットは、泳ぎのうまい人は邪魔ですね。水の抵抗も増えるし。

長野 沢の場合、ライフジャケットがあれば大丈夫というような万能論は危険ですね。

館野 その時の判断ですね。何を使うか、どうするかは。今回の事故の場合、大常木谷事故でRがライフジャケットを着けていたら溺れなかったと思いますよ。逆に、芦廻瀬川事故は、着けていけば引つ掛かって穴から出られない。

長野 館野さんが言いたかったのは「引き出しの多さ」ですね。持っている装備や技術で臨機応

(再掲)

山梨県 秩父・一ノ瀬川大常木谷事故

2018年8月26日、57歳男性T(L)、48歳女性Rのパーティが、大常木谷を遊行、西側の竜喰谷を下降する計画で入渓。午前11時頃、山女魚淵を先行のTが突破した後、アンザイレンしていた後続のRが突破に手間取り、水没した。Tが飛び込んで救出を試みたが、水没。たまたま居合わせた単独遊行者が、警察に通報。翌日10時頃、山女魚淵の入り口で二人の遺体が発見された。



山女魚淵の全容

アンザイレン (ロープで結びあう) については課題が

変に対応する。
司会 ラストが溺れた時、飛び込むか否かということですが、柳下さん、今回の大常木谷事故の例はやむを得なかったという判断ですよね？
柳下 はい、ロープの端を持ち、下流側に回り込みロープを引けば良かったと思います。
司会 クールな見方をすれば、飛び込まなければ一人は助かったかも……。
柳下 救出に向かったことは非難できません。
司会 これから沢を始める人に対してのアドバイスは？
長野 二重遭難は避ける。安全対策担当者としては、生き残っている人が自分の身を大切にすというのが原則と言いたい。奥さんが目の前で溺れている状態で、なかなか自分の身を守るというのではありませんが……。

吉谷 二人パーティの場合、ロー

プの末端ではなく中間に結べば、下流から引つ張れる可能性はありますね。

長野 トップがロープを着けたまま飛び込むというのは、他の問題がありそう。この夏に再度、いろんな救助方法を安全に配慮しながら試してみたいと思います。

館野 教訓としてですが、溺れた人に向かって助けに行くのは間違いですね。意識があれば溺れた人に絡まれますし、下流にまわって溺れた人を救助するのが原則だと思います。

長野 今回の事故現場は両手が兩岸につく幅だから、飛び込むとどうしても接触しちゃいますね。いずれにしても安全に救助する方法を考えなければいけません。

司会 RのロープがTにからんだということはなかったんですね？

長野 それは分かりません。遺体が見つかった時、ロープがか

らんでいたという報告はありません。

戸田 飛び込んだ時、Tのロープは？

長野 ロープを付けて飛び込んだのか、残置したのか分からない。

司会 遺体にはロープが付いていない。ビレー(確保)はボディーでしょう？

吉谷 固定ビレーではなかった？

長野 ハーケン打って、ビレーするような場所じゃない。おそらく自己ビレー取らずに、ボディービレーでしょうね。

館野 最後にひと言。事故防止のポイントは判断力。技術が上がれば遭難が減るということにはならない。技術が上がれば上がるほど、難しい沢に入る。その際、危険性を見極めるのは判断力。遡行途中で詰まって判断するのではなく、思っていた通りに行動して遡行できた、というのが大切ですね。

戸田 その通りですね。リスク

を知っているか、否かですね。

決して少くない沢の事故、10年間で307件

石川 今、2009年～2018年の10年間の沢事故のデータをまとめています。この間、死亡者は12名。事故発生は午前中が多いですね。事故件数では東京・道央・神奈川・兵庫の順です。

柳下 東京新聞の記事(2020年1月5日付)を今日お渡ししました。ポイントは「最近雨の降り方が変化している。日数は少ないが、土砂降りが多い」という内容です。沢の様相が変わってきているのかもしれない。

司会 本誌3月号から野尻気象予報士の連載も始まりました。ぜひお読みください。時間があれば立場川事故・サゴイ沢事故(注9)についても議論したかったのですが、最後に白井さん、ひと言お願いできますか。

白井 事故を起こさないうちに

私たちは起きてしまった事故を分析しますが、これは次に同じことを起こさないためです。事故者は、立場川事故のケースは北ア・赤木沢から立場川へ、大常木谷事故のケースは奥利根から大常木谷へと、天候が良くない、水量が多いなどの理由で、いわばグレードを下げています。私はグレードを下げることで当事者に油断があったのではないかと思っています。甘く見たとは言いい切れませんが、心に隙ができたのでは。この点も事故の要素に入っていると考えています。

司会 本日は長い時間ありがとうございました。

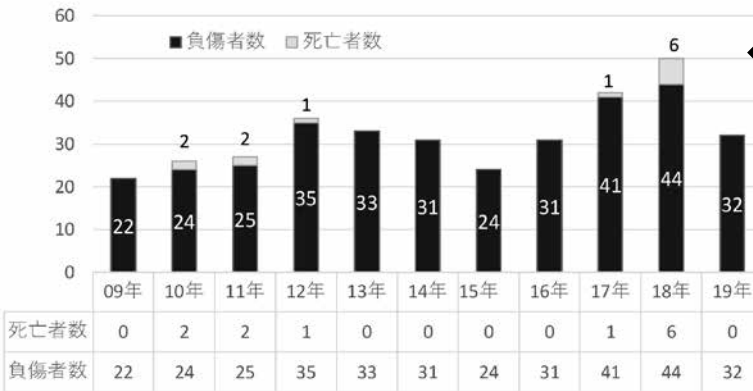
注9：サゴイ沢事故：2018年8月12日午後12時半頃、新潟県苗場山南面のサゴイ沢遡行中の東京都連盟・杉並労山パーティの64歳男性が8mの滝の落ち口に向かって登攀中滑落(アンザイレンしていたが、ランナーは取っていなかった)し、意識不明となる。同行者2名は蘇生行為を行わず、2時間余り登行を続け、警察に救助要請する。夕刻、新潟県防災ヘリで遺体は収容された。

2009年～2019年事故一報から

沢登り中の事故統計

沢登り中の事故者数は、11年間で354名。事故件数は、38件。2009年より、22名から35名の範囲で事故者が推移していたが、2015年から事故者数が増加し2018年に50名となり、同年に6名の死亡者を発生する事態になった(図1)。

2017年までの9年間で6名の死亡者数だったので、2018年に発生した沢の死亡事故について、遭難対策部会でも改めて検討した。なぜ起きたのか。過去のデータから引き出せることがないのか。個々の事例から引き出せることがないのか。過去のデータを分析し事故の傾向・教訓等をだし、対策を考える資料とすることを進めてきた。

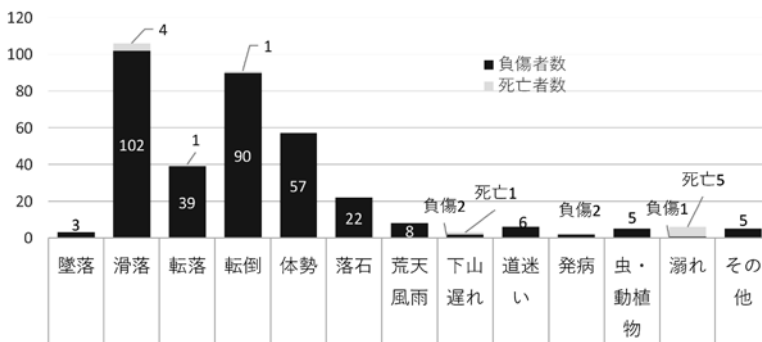


石川昌 / 全国連盟遭難対策部長

滑落・転倒の要因は何か

沢登り中の事故原因を事故一報から集計すると(図2)、滑落と転倒で56%、転落を加えると67%、体勢(*)を加えると86%になり、ほとんどが滑った、転んだ、つまりいた、バランスを崩してから発生する内容となっている。

では、なぜ滑ったのか? つまり見たのか? 直接の原因は見えるが、なぜ滑落や転倒が起きたかは、事故一報からは見えにくい。初歩的なミスか、注意不足だったのか、体力や運動能力が不足していたのか、さらに詳しい分析が必要となる。



50歳代が多い沢の事故
ワーストは東京、
道央・神奈川・兵庫が続く

事故原因の傾向として、この数年、滑落より転倒が多くなっている。落石事故では、パーティ

図3 事故者年齢

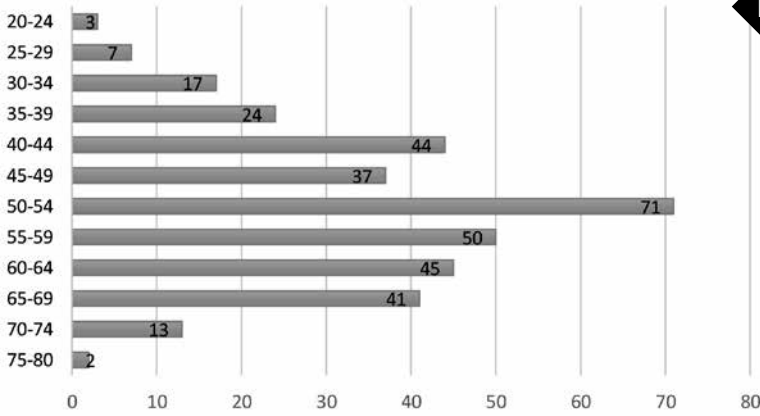
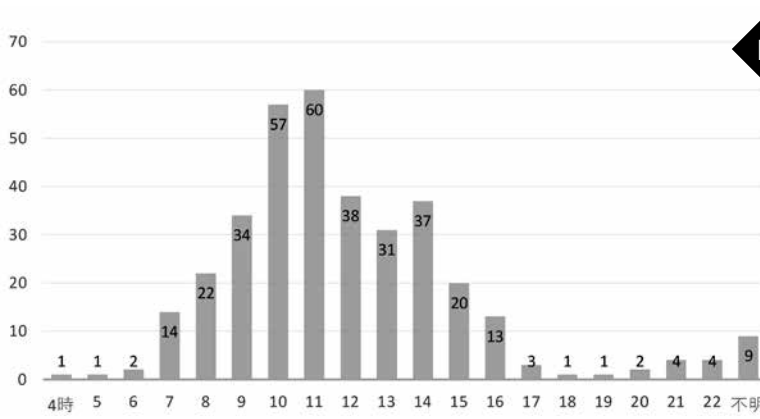


図4 事故発生時間

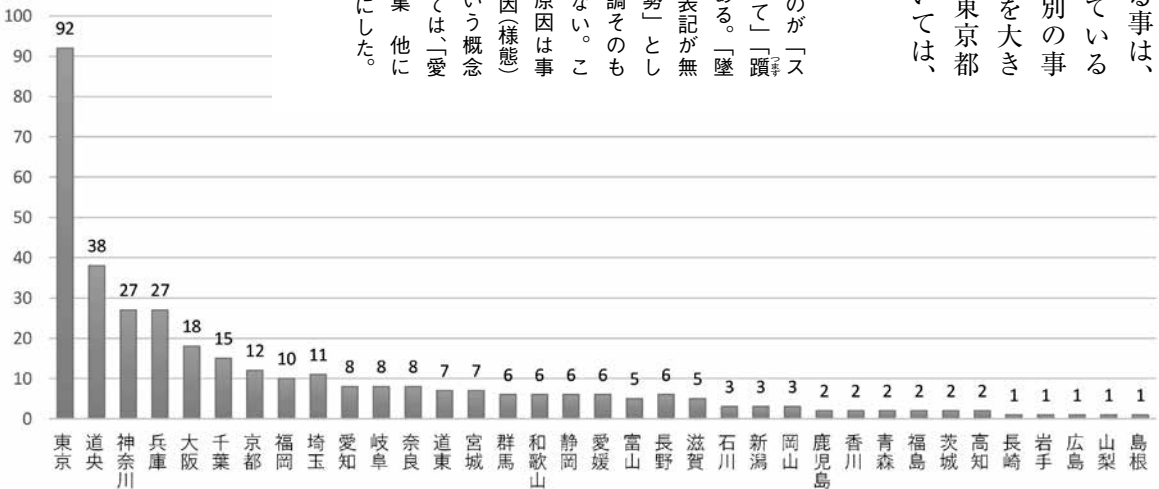


内や自身が起こした落石で怪我をする事例もある。事故者の年齢は(図3)、50代が多く(121名)、特に50代前半(71名)の事故が多発している。全体の平均年齢は、52歳。事故発生の時間は(図4)、午前中12時までに65%。

14時に午後のピークがある事は、下山中の事故が増加していると考えている。都道府県別の事故件数では(図5)、他県を大きく抜いて東京都が92名。東京都の事故者が多い理由については、更なる分析が必要である。

*体勢：事故一報でもっとも多いのが「スリップして」「バランスを崩して」「墮落」「捻挫」「転倒」「転落」の表記が無い報告についてはすべて「体勢」とした。スリップやバランスの失調そのものが事故につながる認識ではない。この状況に至った本来の要因・原因は事故一報からは見えてこない。原因(様態)のひとつとしての「体勢」という概念として使ってみた。これについては「愛知県勤労者山岳連盟事故事例集」他に学び、事故をなくそう」を参考にした。

図5 都道府県別事故者数



無くしたい行方不明・死亡事故シリーズ

第2回

北島英明 日本山岳救助隊代表理事

本誌6月号

「東京奥多摩での事故例 ベテランと新人ペアの悲劇」の考察

4月20日、労山を含む山岳四団体から登山自粛要請が発表された。皆さん山へ行けなくなり、辛いでしょう。辛くなくても、運動不足で体力が落ちたり、太ってしまった方もいるでしょう。登山に限らず、日本中で多くの人がそれぞれ自粛し我慢していた時期に山へ行ったバカ者がいる。長野県では、4月25日尾根から滑落して重傷を負い警察に救助された男性がいた。更に、この男性にはコロナ感染の疑いがあり、出動した救助隊員が一時自宅待機をさせられた。皆が一番危惧していた事やっってしまったわけだ（迷惑千万・怒）。世の中には身勝手者は一定数存在するよ。うだが、そもそも登山はちゃんと計画し準備をしてから楽しむもの。計画とは調べて考える事。

そして想像し予測する事。山へ行く以上、遭難は誰にでも起り得る。避けられないから遭難ともいう。しかし、冷静に考えてもらいたい。行くべきかどうか。さて、本題は6月号の事故事例。2017年3月下旬に東京奥多摩山域で、ある山岳会に所属する男性ベテラン会員と女性の新人会員のパーティーが遭難して、男性は死亡、女性は入山5日後に救助されたケースである（詳細を忘れた方や読んでない方は再読してください）。この事例、疑問符だらけ。奥多摩山域をこ



A: 初日のピバーク地点
B: 八代 (男性) 発見地点
C: 橋本 (女性) 救助地点

存じない方は「山と高原地図」の一部破線でしか記載されていないが、比較的に利用されている「コース」とお考えいただきたい。6月号で事例を紹介した最後に私が指摘した3点について、当事者女性の証言に沿って考察を進めよう。

①「山行中止か初日撤退」



3月下旬で天気予報は「雨のち雪」。あなたはこの予報で山へ行きますか？ 普通は行かないでしょう。その証拠にバスはこの二人だけ。新人は先輩への遠慮と信頼で断れなかったのだから？ 山行中止が正解。

また、撤退の判断は14:00ウトウの頭。コースタイムでウトウの頭到着は12:30。14:00到

着は遅すぎる。「ここまで休みがちで登った」との証言だが、登り始めたばかりなのに休憩が多い、先輩は体調不良と見るべき。更に「かなり雪が積もってきた」ことを考えたら、これ以上の前進は無理。また、14:00撤退なら最終バス16:09に間に合うかも。もし間に合わなくてもバス停か神社には屋根があるし、道

迷いもない。

しかし、実際は判断を誤り、前進して18:00頃ビバークした。が、避難小屋泊りを前提にしていたためかテントもツェルトもなく「ビニールシート」で露営。また、先輩は寝袋も紛失。もはや判断力なし。だが、幸い二人だったので雪の中で生き延びることができた。しかし、どうしても理解できないのが「雪の中に登山靴を放置していた」こと。雪のある山で登山靴は生命線、先輩は判断力消滅、新人は知識が無かったか？

例え小屋泊りの山行でも、ツェルトやエマージェンシーシートは個人装備として必携！

② 「避難小屋で待機」

ともあれ、一晩良く頑張った！二日目になぜ来たルートを下山しなかったか、もはや不思議ではない。既に判断力が無い状態では、前進しか考えなかったのだ。新人は躊躇せず救助要請をする

べきであった。先輩はどうでも

良い、わが身を守るため。しかし、この稜線はあるポイントでしか携帯は通じない。こういうときは、諦めず探すこと。メールやLINEも有効だ。

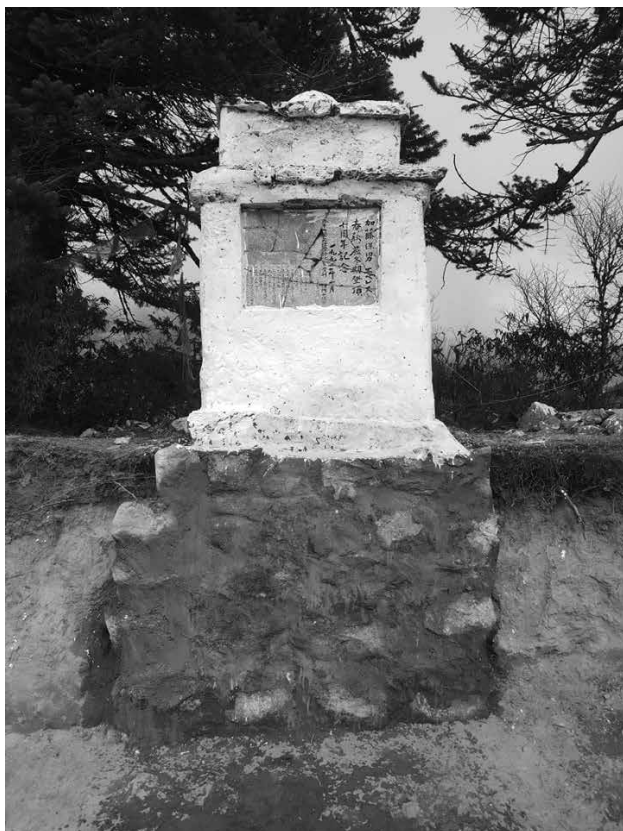
その後、何とか避難小屋へ到着したのだから、避難小屋で待機が正解。既に先輩は判断力も体力も無く、ルートを知らず地図も持たない新人が先行すれば道迷いは避けられない。救助要請が出来なくても、下山しなければ翌日か翌々日には搜索が始まる。避難小屋で三日間耐えろ！計画書提出が命を救う。

③ 「パーティーは別れない」

少人数の場合、決してパーティーを分けてはいけない。絶対一人にしても、なってもダメ！そして動くな！この事故では二人が別れたため先輩の行動は分からないが、ほとんど無意識に彷徨したのではないか？死亡事故は皆を悲しませる。



加藤保男のメモリアル —その2—



修復成った加藤保男碑。フロントを石垣とセメントで補強、化粧直して見違えるようだ。2020年3月5日撮影

2月中旬、新型コロナウイルスはアジアから世界的感染を見せ、隣国をはじめ最善の策としてロックダウンを施行する国と地域が広がった。わが国では、26日、やっと総理による全国的なイベント等の開催に係わる発言があった。全国一律の自粛要請を行うものではないものの、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、必要性を改めて検討するようという煮え切らないものだ。その上、この1~2週間が感染拡大防止にきわめて重要であると位置付け、リスクの高い大勢の集まるスポーツ、文化イベントの中止・延期・規模縮小を要請するとした。一般生活でも集会から飲み会自粛、そして、感染防御マニュアルが喧しく響く。

慰

霊碑関連については寄付、浄財集めに2月だけで電話50通話、Eメールのやり取りはネパールや海外に頻繁になった。奔走したおかげで、目標の金額を大きく上回ることが出来た。特に嬉しかったのは、

全く保男さんを知らないJEC C現役からの浄財だった。遭難当時まだ生まれてもない世代である。金額の多寡にはかわからず、会の人と歴史を知ってもらうことが大事だからだ。

昨

年11月に85歳で亡くなった宮原巍（たかし）さん

のお別れ会が2月8日に東京であった。来日中のシャンケリラ・ツアー大河原さんとの慰霊碑打ち合わせが残っており、そこで顔合わせをと思っていたが、地方出張が延び、残念ながら出席が叶わなかった。宮原さんは大学では保男さんの先輩筋、在ネパール60年、登山が縁でネパールにはまり、20代には政府産業機関で働き、帰化してまでとんとンネパールに尽くした人であ



慰霊碑の建立に尽力した加藤保男の功績を称えるため、2020年3月5日に撮影された慰霊碑の建立の様子。

る。タンボチエの手前シャンボチエの丘北端に、72年にホテルエベレストビューを建てた実業家でもあり、ヒマラヤ山岳観光の先駆者である。エベレストを回る登山隊やホテル建築に関わるヒラリーさんとのやり取りなど、保男さんの話題も含め面白い話をぜひぶん聞いた。

2

月17日にカトマンズに戻った大河原さんとは修繕費用の最終連絡をメールで行い、19日に代理店オン・ジ・アースを通じてカトマンズに送金。現地のシャングリラ・ツアーから工事監督に送金をしてもらう手はずを整えた。周辺を管理するタンボチエ寺院に、長い間の無沙汰を詫げる意味でのお布施を含め、それなりの金額になった。カトマンズでも新型コロナの影響で、車の往来も人も疎らで、毎日が素晴らしい青空だそう。

雪が解けたタンボチエに石工4名に待機してもらい、マネージャーのデニッシュさんにナムチエの国立公園局で石材採取の許可をお願いし、監督のクリッパさんをカトマンズより派遣して23日よいよ工事開始となった。工事期間は10日、加藤保男メモリアルエベレスト展望トレッキング・ツアーが現地を訪れる前に完成させるとのこと

で、頑張ってもらった。慰霊碑修復工事の完成お披露目と寺院での法要を仲間たちと分かち合いたいと思った。3月4日に修復完成、現地ではツアーを迎えられるだけとなった。

と

ところが、日本では3月に入りほとんどの登山ツアー、講習会、講演までが中止になり、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）禍は、社会生活の隅々にまで経済的、精神的悪影響を及ぼしてきた。慰霊碑ツアーも2月末にインド政府のコロナ対策ビザ停止を受け、ネパールも追従。3月4日には渡航における入国ビザと健康証明書の問題が発生。大使館および空港でのビザ発給停止、証明書類も入国条件の確証ではなく、10日以降、感染有無のための隔離や諸問題で、ビザ所有者であっても現地代理店が責任を負うことは難しいとなり、ツアーは急遽中止となった。アジア、ヨーロッパ、北アメリカ

3

カの国々も入国制限に踏み出し、航空便が次々と減便、ネパールに渡っていた多くのトレッカーはその後、2〜3か月身動きも取れず、5月中旬になって日本人でも帰国できた人は稀である。

月11日、昨年晩秋から体調の不調を訴えていた磯野剛太さん（66歳・日本ガイド協会理事、アトラストレック代表）が癌で他界。加藤保男代表のツアー企画会社「エベレスト」の中心的存在で保男さんを盛り上げ、良き相談相手だった。同月27日にはスイス在住、わが会の重鎮加藤滝男さん（76歳）が脳出血で逝く。保男さんが消息を絶った10年後に慰霊碑設置に同行。保男遭難の報に触れた時、「登山家の死にまさかはない。たとえ僕の弟であっても」登山家として重い言葉を残した。修復お披露目ツアーは状況が許すならば、秋以降に再度行いたいと考えている。

＊ 労山創立60周年に寄せて ＊

熱く燃えた仲間たち

長崎県連の旗を高く

塩田幸助



(しおた・こうすけ)

1936年生まれ。1956年から社会人山岳会に8年在籍し、1965年長崎勤労者山岳会入会。長崎県連の設立に尽力、会長及び理事を25年間務める。現在、長崎カルチャー山の会会長。

39名で長崎労山を結成
一年で仲間が150名超に

長崎の仲間が「労山」を知ったのは、1964年の夏、九重で行われた「九州青年学生平和友好祭」である。ここで長崎の青年は福岡の青年と出会い、福岡労山が活動していることを知った。

その中身は、62年正月の九重の遭難で、登山者を救うべく活躍した福岡労山の熱き想いの経験談であった。

「山で死んではならない、命は大切にしよう」と大事な話を聞

き、長崎でも「労山」を作ろうと熱い気持ちで持ち帰った。約1年の準備をしたのである。

65年7月4日、39名の仲間たちが集まり、ここに「長崎労山」を結成したのである。

「山で死んではならない、命は大切にしよう」という伊藤正一さんが呼び掛けたこの考え方が、労山の基本だったのである。

まず、長崎では、若者たちに登山の素晴らしさを語り、一緒に近郊の山々を登った。装備や靴の無い人には、先輩たちが自分のものを貸し、労山の事務所が必要だと知れば、アパートを

借り、そこを事務所提供した。

毎週のように山に登り、連休は九重、祖母、阿蘇の山に登り、デパートの店員さんの為に休暇を取って平日も一緒に登ったりして、その1年後はなんと150名を超える会員になったのである。

指導部は、全国連盟の総会に出席して組織の在り方を尋ねる。長崎のようにずっと会員を大人数にしていったら良いのか、それとも分割して活動したら良いのか…と。

仲間たちが討議してくれて「50名程度に分割」した方が活躍

しやすいのではと、話は決まり、1年目に「東部労山」「西部労山」「南部労山」が誕生し、併せて香焼地域と大村地域に労山を誕生させ、67年10月に5つの会で長崎県勤労者山岳連盟を結成したのである。

この年、九州ブロックでも登山教室を初実施し、内容は全国連盟の吉尾弘氏を招いてのものであり、併せて九州ブロック協議会も発足させたのである。中心は福岡の深野一郎氏であった。

会員の意欲も盛り上がり、登山技術の高まりもあって3年目に教育活動の指導センターを作り、登山の内容をどう学び、実技も含めて系統的にどう進めるかの指導カリキュラムに取り組み、併せて「働く者の登山観」を深める学習も行った。

指導部は更に岩登りの場所を探し、岩の基礎訓練も行い、阿蘇の鷲ヶ峰の岩壁の訓練も行った。



冬期南アルプスの北岳吊尾根を登る長崎県連パーティ（1981年）

5年目は、近郊の山、八郎山系に林道建設が行われているのを会員が見て、これは自然破壊ではないか、「自然を守れ」と林道建設反対の運動を始めて街頭署名も行い、多くの団体も協力し、市との交渉を行って中止させた。

多様な講師を招いて

7回の登山研究集会を開催

また、登山研究集会も全国連盟に学んで、長崎県連盟でも実施した。

1回目は岩壁のエース小西政継氏を招き講演、あとテーマを

決め、①冬山の魅力と厳しさ

②登山を豊かにする為に
③ふるさとの山々を守る為に
④山岳会の運営について
⑤会報活動はいかにあるべきか
⑥女性と登山など内容を深めた。

次の年の講演者にはアイガー北壁を登った今井通子氏、3回目は登山作家の安川茂雄氏を招き、7回続けてテーマを深めた。

連盟は7年目に10周年に向けて3ヶ年計画を立て、冬期後立山連峰の全山縦走の1年目として爺ヶ岳から鹿島槍、2年目は五竜岳から唐松岳、3年目は白馬岳から不帰岳と立て、これを全会で実施し、力量や技術や意欲を高め、たくましくなった。

それと、地域に「労山」を広めようと佐世保に行き、島原に行き、東彼町や、多良見町に行き、仲間がどんどん増えて13年目には18労山600名を超すまでになり、全国でも会員数が第5位になった時があったのだ。この西の果て長崎で嬉しかった。

20周年目には、初めて海外に

目を向け、ヒマラヤ遠征を企画した。目標はランタンヒマールのランシサリ（6470m）で、10名の隊員が挑戦したのである。10月のことだった。

この山はすでに2回登られていたので、私たちは別のルートを研究し挑戦したが、この季節はどうした訳か豪雪に苦しめられ登頂は出来なかったが、次に続く者には大きなステップになったのである。

あと22年目に全国連盟の高所登山学校に川原慶紀氏が参加、近藤隊長の指導でシシヤパンマとチヨモランマの8000m2座に登頂されたのである。これは長崎県労山の誇りです。

さて長崎県労山は「平和なくして登山なし」のスローガンで、平和行進や平和登山を行ってきた。平和は何より大切だ。

最後に、皆が力を合わせて、登山文化の創造に頑張りましょう。まだまだ長崎は元気です。

(5月号から続く)

今回は、自由記述「要望・意見、取り上げてほしい内容を教えてください」の回答を紹介する(回答数124件)。自由記述では、意見・要望とともに本誌への励ましもいただいた。登山時報は本号で545回目の発行となる。読者の求める誌面と労山の機関誌としての役割、これらを踏まえて今後の誌面づくりをすすめていきたい。(登山時報編集部)

アンケート概要

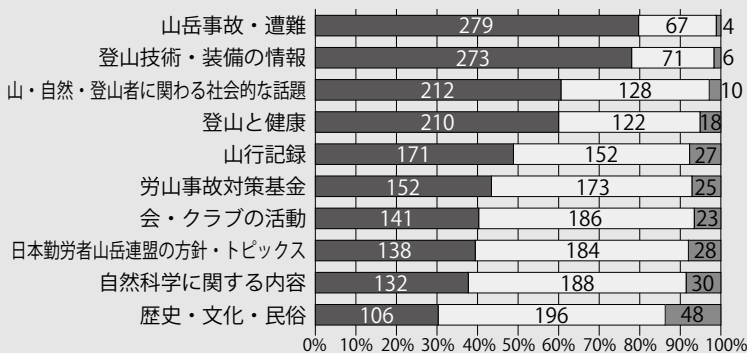
目的：読者層の把握、誌面づくりに活かすため
対象者：購読者、各クラブ・会で配布された見本誌を読んでいる方、全国役員などすべての読者
期間：2019年11月15日～
2020年1月15日
方法：WEB上での回答(google form入力形式)、一部FAX、郵送での回答
回答：350人

読者アンケート 結果集計 ②



誌面で取り上げてほしい内容(回答数=350)

■取り上げてほしい □あってもいい ■不要



誌面で取り上げてほしい内容

読者回答の一部を編集して紹介

山岳事故・遭難

◆遭難、事故の低減に向けた内容の掲載が最も大事。専門委員会活動報告の遭対部報告は発生傾向を簡単に羅列しているが、毎号、具体的な事故事例を少し詳しく紹介したい。地方連盟では事故事例の本も出版されている。事故には同様な事例が多いと思うが、それでも紹介していいと思う。

◆遭難事例・対策・結果についても、特集号を発行してください。別冊でも結構。

◆注意喚起の意味も含めて、時節にあった事故について取りあげてほしい。

山々の情報

◆地域ごとの山特集などもいい。たとえば、穴場的な山、俺らが山的な紹介。

◆最近、西と東の低山ハイクのページがありません。マイナーな山を参考にしてほしいので、国内のユニークな山行記録がほしい。

◆地方の里山的な山の情報、マイナーな山行記録がひと月にひと山は掲載してほしい。

◆国内のアルプス山行記録を楽しみにしているので、ぜひ載せてほしい。

登山と健康、トレーニング

◆最新のスポーツ科学の視点から見た登山を取り上げてほしい。具体的には、より高度な登山やクライミングを目指すためのトレーニング方法、高齢になっても登り続けるためのトレーニング方法、山での体調管理など。

◆昔のような高所登山や高難度の登山は減りつつある。今や登山の要求は変わっており、それを支えているのは高齢者が中心。「健康登山」が求められているので、その記事を望む。

スマホのアプリ

◆登山に関わるさまざまなアプリがある。会でも講習会を行っており結構好評だ。登山届や地図などアプリが利用でき、便利なツールだと思う。スマホ地図アプリの最新情報を適宜掲載してほしい。

◆2017年に掲載された「スマホを登山用GPSとして使おう」は、

購読ではない会員にも紹介した。
◇ハイキングでも道迷いが多いが、高齢の方にはアプリに弱い人も多い。地図アプリの使い方を紹介する企画があればよい。

本誌への意見・要望

読者回答の一部を編集して紹介

◇多くの記事が2ページどまりだが、掘り下げて論じるにはもう少し紙幅がほしい場合もある。詳細があればホームページのリンクを表示してあるといい。

↓(編集部) 内容によっては3ページ以上を割いたり、連載にしたりしている。本文40ページで多様な内容を掲載するので難しい面はあるが、テーマや書き手によって柔軟に対応したい。詳細、参考資料とのリンクは検討する。

◇会員が増加している元気の会の紹介や、会員の高齢化対策などを中心に誌面構成してほしい。

↓掲載を試みたことはあるが、意図した通りにはいかなかった。取材体制も限られるので、こうした記事の作成(取材)は地方連盟の力を貸していただきたい。

◇投書のコーナーを毎回作ってほしい。内容を検閲せず、登山時報や労山に批判的なものも載せてほしい。

↓投書欄を毎回つくるほどの投書がないので、年に1回などまとめて掲載するようにしている。アンケート読者の批判的な投書も掲載している。幸いに登山時報や労山に批判的な投書はない。

◇労山連盟の活動報告や討議事項、お知らせなどは登山時報から切り離して無料のニュースとして発信してほしい。また、山域や登山技術の情報は専門誌やSNSに任せ、会運営などの身近な情報がほしい。

↓労山は4媒体(登山時報、公式ホームページ、全国連盟メールニュース、労山ニュース)で情報発信をしているので、それらを効果的に使い分けていきたい。

◇リニア問題を継続して取り上げてほしいという声がある一方で、11月号「ふみあと」リニアを取り上げた内容は、諸所に「某政党」のおいがある。また、最近は労山としての政治問題が少ないことは良いこと、理念先行の記事は拒否反応がある。

↓労山は登山団体であり、会員の中にも色んな考え方の人がいる。だから極力、政治的な記事は掲載していない。しかし、個人の考え方で規制することはできない。書き手側の表現の自由はあると考える。

◇海外の登山記事は自分には雲の上の話なのであまり関心がありません。もっと身近な山行記録等を取り上げてほしい。

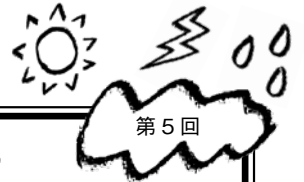
↓バランスに配慮して、身近な山行記録も意識して取り上げてゆく。2019年には330件の労山の

パーティが海外山行に出かけている。他の山岳団体と比較して海外登山が多くて活発だ。

◇デジタル化の波に抗うことは難しい、でも紙媒体は捨てがたい。手でゆつくり読むことができて理解できる内容がある。PCやスマホではページめくりが疲れる。

◇労山会員限定で登山時報PDFの無償配信を希望する。また、バックナンバーをPDF化して無料公開してどうか。それがネット検索されると労山の宣伝にもなり登山者にも役立つ。

↓今年から登山時報は紙媒体とPDF版の2本建てが始まる。この一年はトライアル期間でPDF版は無料で公開し(紙媒体よりは数か月遅れで)、来年以降のデジタル版の価格を検討する。バックナンバーのウェブ公開は、執筆者への了承等の課題があるが、現在にも役立つ記事、貴重な内容もあるので、労山の財産として活用を検討する。



山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

夏の雷

一下界と上空の気温差がカギ

危険もある。まず、最初に雷に遭遇したときの心得をまとめてみよう。

・雷鳴が聞こえたら危険域なので、退避を意識する。
・小屋の中は安全だが屋外で絶対安全はない。壁のない東屋は危険大。テントも危険。

・姿勢をできるだけ低く両足を揃えてしゃがむ。山頂や岩場は極力避ける。広い場所も危険大。
・樹木（高さ5m以上）の近くでは樹の先端を45度以上の角度で見上げる範囲で、かつ幹や枝から4m以上離れてしゃがむ。雨を避けるため幹に近づくことは危険。

特に最後の点が要注意で、急に降り出したにわか雨を避けるため樹の下に入ったところ、雷に撃たれる事故が多い。樹に近づき過ぎると樹に落ちた雷が人間に飛び火するので危険だ。

夏山の天気で気になるのは雷だ。落雷は実はいふれた現象で、フランクリン・ジャパン社ホームページによると日本の年間落雷数は、年によって大きな差があるが、数十万発で、百万発以上を超える年もある。そのうち人に被害を及ぼすものはわずかだが、もし被雷すれば命の

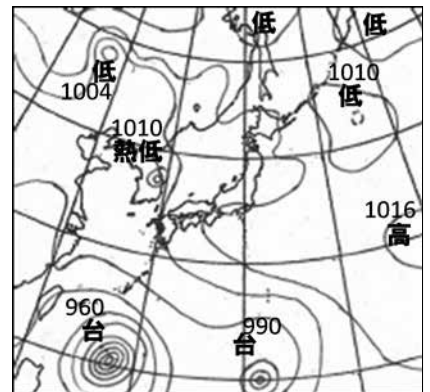
積乱雲ができて十数分で雷

雷を起こすのは積乱雲だが、積乱雲の特徴は発生・発達が急なことと局地的であることだ。雲が発生しはじめ、十数分で雨が降りだし雷になることもある。今では山行中でも携帯端末で気象レーダー画像をチェックできるが、通常の気象レーダーで捕捉できないのは雨粒なので、積乱雲が移動してくる場合とはかく、雨粒が十分にできていない発達前の雲を見ることは難しい。雷予想のアプリもあるが、現地での状況判断が大事だ。

私は昨夏に北アルプス表銀座コースをテント2泊3日で縦走したが、初日は大天井岳の小屋に到着直後に雷雨、2日目は北ア東山麓の安曇野で積乱雲発生、3日目は上高地の南の方で雷と3日連続で雷があった。今回はその状況を報告しよう。

まず、縦走初日の8月7日の天気図を確認しよう（図1参照）。前日に九州に上陸した台風が熱帯低気圧に弱まって朝鮮

図1 2019年8月7日9時の天気図



半島にあるが、中部山岳周辺は太平洋高気圧に覆われていることがわかる。朝から合戦尾根を登り10時頃燕岳に着いたが、既に雲がしきりに湧いては消えという状態で、槍ヶ岳が見え隠れしていた。大天井岳への縦走路に入ると、吹き上がる霧の量が、増え頭上の雲も増えてきたが、鞍部では槍ヶ岳がまだ見えており吹き上がる霧も稜線を越すと谷間に消えていく感じだったので何とか持ちこたえるかと思っただけ、頂上を巻く頃に小雨が降り始め、大天井に飛び込むと間もなく豪雨になった。

小屋で聞くと実は大天井岳の

2019年6月

長野県諏訪郡富士見町入笠山
(散策のみ/ゴンドラ山頂駅1780m)

七瀬 3歳11カ月

峻 0歳11カ月

タイム◎(雨のためしばらく駐車場で待機)～12:30 頃ロープウェイ山麓駅～12:45 ロープウェイ山頂駅～(昼食)～13:30 歩き始め～13:40 入笠湿原～13:50 遊歩道入り口～14:00 入笠花畑前～14:10 入笠湿原～14:20 ロープウェイ山頂駅近くの山野草園～14:45 ソフトクリーム休憩～15:00 過ぎロープウェイで下山

参考◎「山と高原地図 北岳・甲斐駒」(昭文社)

ゴンドラで移動



一瞬の晴れ間!



雨上がりの入笠湿原。この時は元気いっぱい…でも中力続かず



ソフトクリーム休憩

できるかな? 行ってみよう!



山野草公園を散策。マイズルソウやエンレイソウ等高山植物が咲いていました

子づれ山さんぽ[◎]

vol.37

やま

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ
峻 2018年7月生まれ

中央道諏訪南ICを下りてから登山口までは近く(車で10分弱)、「ゴンドラすずらん」を使えば山頂まで1時間程の入笠山(冬になると「富士見パノラマスキー場」となり、中央道からはその山肌白いゲレンデを望めます)。小さな子どもとも歩きやすそうだな、とかねてより気になっていました。

神奈川県川崎市の自宅を出発：

したものの、土曜朝とあり、渋滞に巻き込まれ、さらに空は怪しい雲行き…。到着時間が遅れた上、登山口に着いた途端に雨が。山麓駅付近でしばし雨宿りです。ベビーカーのレインカバー等雨対策はしていたものの、乳幼児連れで悪天候の中の行動は、安全面でも避けたいところ。

ただ、通り雨っぽかったので、とりあえずゴンドラで上がったみることに。そうこうしているうちに、七瀬から「おなかすいたー」との声が。ゴンドラ山頂駅到着後、無料休憩所で、途中で購入したコンビニのおにぎり等で昼食。

峻はレトルトパウチ式の離乳食をスプーンで食べさせました。峻はおむつ替え、七瀬のトイレへの付き添い、防寒&雨対策で色々着せ、ベビーカーに乗せ…こどもの世話で時間がかかりました。

さいわい、昼食が終わる頃、小雨に。昼過ぎになって、やっと歩き始めです。ニホンズランが咲きかけ、雨上がりで雰囲気のある入笠湿原を歩き、七瀬は、始めは「これはぼうけんだね」と張り切っ

て歩いていましたが、平日の保育園生活で昼食後といえはお昼寝の時間。集中力は続かず「つかれたー」を連発し始めました。

山頂まで行かず、入笠花畑あたりで引き返すことに。山野草公園を散策し、ゴンドラで降りる前にソフトクリームを食べ、休憩していると一瞬、雲が晴れ、青空が！そして八ヶ岳も姿を現してくれました。

こどもの世話にも時間がかかり、その生活リズムに合わせると、なかなか計画通りとはいかないですが、雨上がりならではの景色が楽しめたなあと思います。

※入笠山のゴンドラは2020年は6月1日より営業開始ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、営業時間短縮やゴンドラの人数制限等あるようです。また、都道府県をまたぐ移動等、最新の状況にご注意ください。

延期のお知らせ

日本勤労者山岳連盟 創立 60 周年記念講演会

2020 年 11 月 14 日 (土) 13:00 ~ 17:00

神田明神ホール (東京都千代田区) にて

※当初予定 6 月 21 日から延期しました。講演内容、同日 18:00 ~ 記念レセプション (ホテル東京ガーデンパレス) については変更ありません。詳細は、全国連盟ホームページでご確認ください。

- 14 日 遭難対策部会
- 同日 登山時報編集委員会
- 19 日 三役会議
- 同日 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 同日 組織部会
- 25 日 自然保護委員会
- 26 日 労山基金運営委員会
- 28 日 第 3 回理事会

第 3 回理事会、討議事項

- ① 6 月以降の会議等の日程変更について
- ・アジア山岳連盟理事国会議は中止 (当初予定 6 月 19 日)
- ・ 6 月 25 日 第 4 回全国理事会 (当初予定 6 月 20 日から変更)
- ・ 11 月 14 日 創立 60 周年記念行事 (当初予定 6 月 21 日から変更)
- ・ 11 月 15 日 全国労山基金担当者会議 (当初予定 6 月 20 ~ 21 日から変更)
- ・ 7 月 4 ~ 5 日 全国遭難対策担当者会議は Web 会議で開催 (当初予定と同日程)
- ② パンフレット作成委員会の新規設立について
- ・ 労山の新規会員獲得のため、全国的な活動内容や労山基金の魅力を分かりやすく伝えるパンフレットを作成する。
- ③ コロナ関連について
- ・ 地方連盟の総会等の開催状況と各地方でのコロナ感染対策を調査して今後の活動に役立てる。



岩場は自粛して庭の木で登り返しの練習



今年の夏はすべての登山道が閉鎖となった富士山



○ 労山基金運営委員会

交付申請の審議結果の報告

全国連盟理事会に報告している基金運営委員会の審議結果を公開してほしいとの声があったので、4月28日委員会の交付申請の審議結果を紹介する。

申請件数は22件、交付総額は約165万円、救助捜索交付は2件で約7・7万円、救済交付は0件だった。3倍交付は申請が6件あったが、承認4件、保留2件だった。

興味あるのが、どういう理由で非承認や保留になったのかということであろう。3倍交付が保留となった例では、申請内容ではコースタイムが不明のためルート図を要求して再審査を行うケース、疾病（心筋梗塞）による交付申請のため問診票の提出を待つて再審査を行うケースがあった。別の例では、労山をすでに脱退した会から交付申請があり、脱退した会に申請の権利はないため不承認（審査対象

外）となった。4つ目は、西日本からの申請でよく見られる保留の例で、例会での山行募集につき山行計画書がないケースだ。これは、事故者が特定できる実施報告書等の提出を待つて承認（交付）する。

委員会では、次に、第6回全国基金担当者会議（当初は6月中旬を予定。秋に延期して実施予定）の議事次第と準備項目について検討した。また、第一種基金を廃止する場合の変更条項とその場合の問題点を検討した。第一種基金を廃止した場合は、当然、会からの預り金を返金することになるが、既に脱退した会についても、原則、調査の上で返金する。さらに、中国プロックで予定している「基金実務担当者講習会」については、10月3日に広島県三次市「十日市きんさいセンター」で開催することを確認した。

（今野善伸／労山基金運営委員）

○ 自然保護委員会

科学的な知見に基づいた行動を

世界中に猛威を奮うコロナウイルスの影響で、日本でも緊急事態宣言が発令された。この原稿を書いている5月末には、医療従事者の方々の懸命な努力や国民一人ひとりの自粛により、ようやく宣言の解除が見えてきた。この間、政府が有識者による科学的知見を基に冷静に判断する動きが読み取れた。このことは国民の一人として評価したい。

コロナウイルスに対峙する上で、デマや風評に流されず、科学的な根拠に基づいた行動をとることの大切さを我々は学んだ。しかしながら、南アルプスの大自然を破壊するリニア新幹線の建設、辺野古での軟弱地盤を無視したかのような基地建設、プルトニウムを再利用？すると謳う「もんじゅ」の再稼働など、科学的な考え方を否定する動きは止まっていない。今こそ再考の絶好の機会だ。

(瀬下啓司／全国自然保護委員)

○組織部

総会方針の確認と任務分担

2月の総会で、青年、女性両委員会の担当部局が組織部から事務局に移った。3月の理事会では久保典子が新たに組織部長に任命された。部員は、力ある経験豊かな理事で構成されている。北から、道央の山本裕之、岩手の渡邊健治、埼玉の若手委員の柴山利幸、東京の田上千俊、石川友好、千葉の山本尚徳、香川の阿部哲也、石川の浅瀬和人、鹿児島は今村正一、事務局長の川嶋高志の各氏で総勢11名だ。

4月、5月の部会では、ざつくばらんに意見交換をし、総会方針を確認し合った。3月からコロナの影響下での各地方連盟の総会取り組みの様子や会員の状況等の情報交換もした。任務分担についても話しあった。

(久保典子／全国組織部長)

○遭難対策部

岩場を移動中の重大事故

岩場を移動する際に滝の上部にある沢をトラバース中に足を滑らせ、そのまま滝下の谷底へ転落する事故が発生。緊急事態宣言中で死亡事故につながる恐れがある重大事故だった。

登攀中の移動で発生した内容であり、基本的な技術不足か安全に対する意識不足と思える。登攀でのリスクは多いが、常に自身の安全に対する取り組みの力量や技量を高める意識を持つ事が必要だと考えている。

4月9日から5月14日までに届いた事故一報は11件。4件が無雪期登山、4件が積雪期登山、2件が山スキー、1件が登攀。下山中(下降中)の事故が9件。骨折が5名。足首と膝の損傷が3名。凍傷、腹部ダニ、眼球白目損傷が各1

4月8日から5月14日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	山名	山行形態	事故原因		傷病名
1	4/5	長野 爺ヶ岳	積雪期	凍傷	低温/強風	右親指
2	3/21	東京 南高尾	無積雪	転倒	前のめりに転倒	左橈骨尺骨遠位端骨折
3	3/29	兵庫 大池地獄谷	無積雪	足を滑らせ	石に指が当たる	左人差し指骨折
4	3/29	道央 美瑛岳	積雪期	滑落	アイゼン技術	右膝関節内側 側副靭帯損傷
5	4/7	岡山 龍ノ口山	無積雪	虫・動植物	ダニに噛まれる	ダニの切開
6	3/31	道央 旭岳	積雪期	滑落	足を滑らせ	右腸骨翼骨折
7	4/19	岡山 烏帽子岩山	登攀	転落	足を滑らせ	頭蓋骨陥没骨折
8	4/13	群馬 谷川岳	無積雪	雪面踏抜き	雪面の状況判断	捻挫
9	4/14	道東 野塚山	山スキー	転倒	雪に足をとられ	左膝前十字靭帯断裂
10	4/26	岐阜 荒鳥岳	積雪期	虫・動植物	枝を払って目に当たる	白目の外傷
11	3/25	東京 白馬岳	山スキー	転倒	後頭部より転倒	軸椎骨折

事故一報の受領順で掲載

名、男性8名。女性3名。年齢構成は、20代1名、50代3名、60代5名、70代2名。

(石川昌／全国遭難対策部長)

創立 84 周年

日本山岳画協会の定例展が開催されます

会期：2020年7月5日（日）～11日（土）

11:00～17:00（5日は正午から、11日は16:00まで）

会場：東京交通会館 B1 ゴールドサロン（東京都千代田区有楽町）

※同協会による展覧会「山に魅せられた画家達」は、大町山岳博物館（長野県大町市 会期7月12日まで）、北アルプス展望美術館（長野県北安曇郡 会期8月30日まで）で再開された。

ふふハハ

No.159

村松 孝一



※前号 不用不急の山 不要不急でいた。コメ

FROM EDITOR

山行自粛「解除」とはいえ新型コロナウイルス感染の数値は、依然止まっていな
ない。幸いスタッフの協力で本誌発行は通常通り維持されている。年内二次感染の
拡大は否定できない状況、企画等も各会のホームページを活用している。（橋口）
全国的に非常事態宣言が解除された。これでひとまず堂々と登山できる。とはいえ、
三密は避けねばならないし、山小屋の休業は7月まで続く。当然のことながら3
～40名でのバスハイクも検討の対象となる。各会、各県連での苦労は続く。（田上）
緊急事態宣言が解除。国や県から「出歩くな」とのお達し。趣味の温泉巡りも
できず、薪割に徹した。信州暮らし15年、例年より大いに進んだ。だが、何
歳まで続けられるか、体がきしむ。例の10万円では薪割機は買えない。（塩田）
何処へも出られず、何もできずの連日でストレスも増幅かと。近場の里山ヘタムシバ、
山ツツジ、九輪草、山芍薬の花を求め徘徊する日々。天女のようなオオヤマレンゲを見
つけたときは感動と別天地の心地であるが、帰宅と同時に束縛の社会に舞い戻り。（小倉）
秦・漢・唐の故事から「これらは皆、旧主先皇の政にも従はず、楽しみを極め、
諫めをも思ひ入れず、天下の乱れんことを悟らずして、民間の愁ふるところを
知らざっしかば、久しからずして、亡じにし者どもなり」と。『祇園精舎』蘇る。（鈴木）
新型コロナウイルス問題は、日本国内はもちろん世界の動きの様々なことを見せてくれる。
興味深いのは、お国事情によってこんなに対応が異なるのか、社会や人々のそれぞれの違い
をあぶり出し絵のように見せてくれていることだ。今後も関心をもって観察したい。（今野）

登山時報

©禁無断転載

7月号 No.545 2020年6月15日発行

編集長 今野善伸

副編集長 橋口晴彦

編集 酒井正裕、田上千俊、水野奈保美
渡辺明（進行）

校正 小倉迪夫、塩田善次郎、鈴木幹雄、三浦俊俊

DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳

編集人 今野善伸

発行 日本勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp

印刷 株式会社 ウイング・コア

中国の青いケシ 探訪記

—四川省編⑨—



写真・文
松永秀和

メコノプシス・クインツプネルヴィア

中国四川省黄龍五彩池 標高 3550m

日当たりの良い所では
全開する

黄龍は九寨溝と共に、1992年中国で初めて世界自然遺産となったが、谷底の入り口から最上部まで標高差約500mを自分の足で上ることになる。途中、石灰華でできた池や龍の鱗に似た黄褐色の岩を流れる滝（黄龍の名の由来）で足を休めながら、木の階段を延々と登る。2時間後、五彩池に到着。池を周る木道を歩き、花を探す。木道わきの林の中に薄紫色の小さな花を見つける。花は2cmほどで半開き、丈は35cmほどで根出葉の上ですくと立っている。メコノプシス・クインツプネルヴィアである。この舌を噛みそうな名の青いケシは、ロシアの探検家プルジェワルスキーが1880年甘肅省で発見したもので、青いケシの中で最北限に咲く種の一つだ。葉と平行に5本（クインツプ）の葉脈（ヴィア）があることから命名された。このシリーズの最初に紹介した赤い花のM・プニケアとは近縁で、それとの自然交雑種（M・クーケイ）もある。

黄龍では木道から出ることが禁止されている。やむなく木道の上で腹ばいになり写真を撮っていると、観光客が何をしているんだと不思議そうに眺めて通る。そして、傍らに置いていた交換レンズがいつの間にか消えていた。

地図読み 迷入

監修・村越眞
宮内佐季子
小泉成行

Lesson 133

地図アプリを使って地形読み練習 谷の出会い

今年1〜3月号の地図読み迷入でも書いたが、地図アプリを使ってナビゲーションする場合でも等高線から地形をイメージできるとナビゲーションのスト

レスを軽減できる。今回から3回は、その地図アプリを使って等高線から地形をイメージする練習をしていこう。今回は谷の出会い。谷の出会いには谷底を歩

いているときに見つけやすく、また迷いやすいポイントでもあるので、チェックポイントにする機会が多い。アプリは「ジオグラフィカ」を使いながら進めるので、ぜひ操作しながら読んでいただきたい。

まず、図1のように画面上部を左にスワイプし、出てくる検索窓に「35.4366 139.1333」と入力して検索する（注1）。すると、図2のa地点に跳ぶはずだ。

a地点とb地点は川の合流地点であることが読み取れる。川が合流しているということは、こ

の場所が谷の出会いであることだ。ここまでは地図を読み慣れていなくても分かるだろう。次に、等高線のパターンも見てみよう。図3のように等高線の曲がりや連なっているところのまん中は谷か尾根になっている。これが谷なのか尾根なのかは他の情報から読み取らなければならないため、最初はどちらか読み取れなくても構わない。ただ、ピンクの線に沿って川の記号が描かれていたら谷であることは地図読み初心者でもわかるだろう（注2）。

a、bは谷の出会いなので、

図1



図2

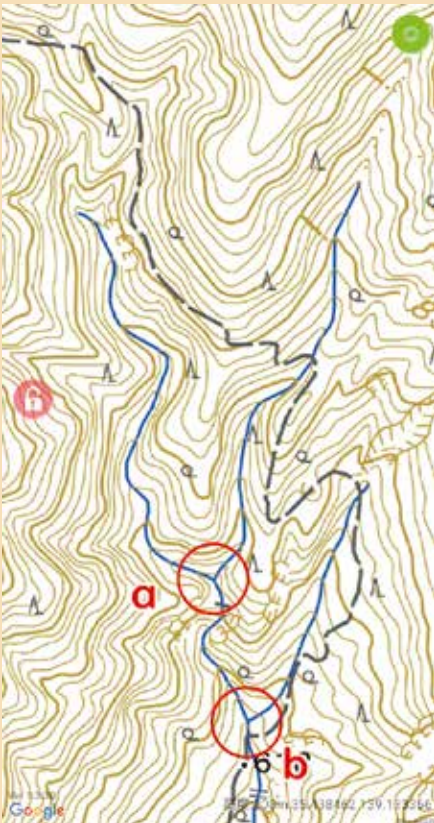


図5

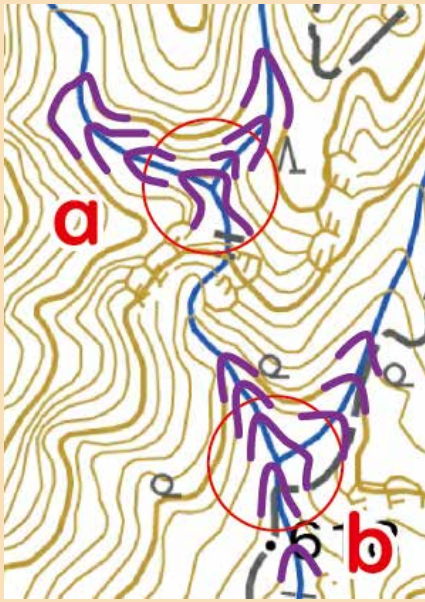


図6

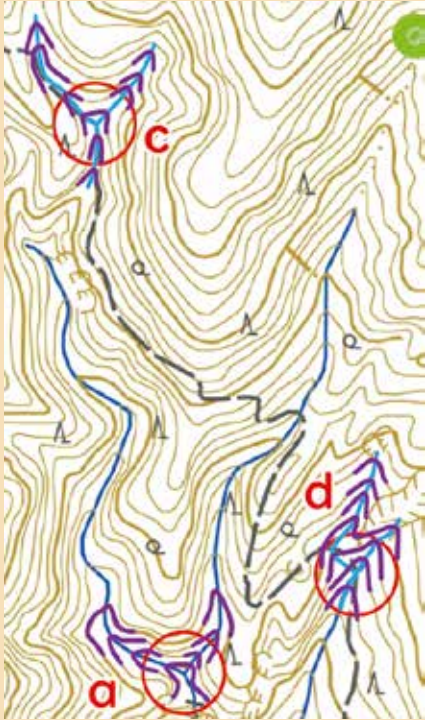


図7

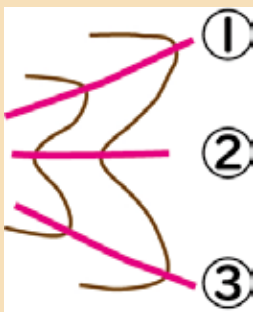


図3



図4

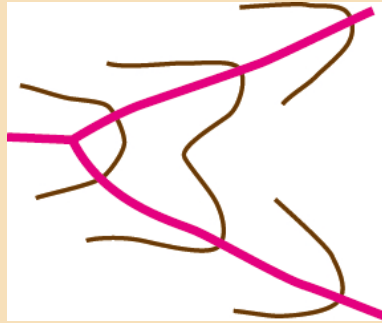


図3のパターンで表現される谷が合流する形になっているはずだ。それが図4のパターンである。ちなみに、図4のパターンは尾根の分岐点のこともある。a、bの周辺もよく見るとこのようなパターンが見られるのを確認

してほしい。ぱっと見て分からなければ、拡大してよく確認しよう(図5参照)。
 次は、川の記号が描かれていない谷の出合いを見つけてみよう。図2の中で登山道が谷の出合いを2回通っている。分かるだろうか。(答えは図6のcとd)

さて、このように事前に地形を読んでおいて、実際に歩きながらその地形を探し、見つけたら確かにその場所にいることを地図アプリで確認しよう。もし

その地形が見つけれなければ、地図アプリを使ってその場所まで行き、改めて等高線と地形を照らし合わせる。

今回取り上げた場所に行ってみるもよし、他の場所でも似たようなパターンを見つけて行ってみるもよし。ぜひチャレンジしてほしい。川の記号がない場所で、行ってみたら尾根の分岐だった！なんてこともあるかもしれないが、「あるある」なので凹んではいけない。その場合、少なくとも図4のパターンは読み取れている証拠である。

(注1) 検索窓に「緯度、半角スペース、経度」の順で書き込み検索すると、その緯度経度の場所に跳ぶ。

(注2) 紙の地図を使う場合は図3のような地形が尾根なのか谷なのか地図から判断する必要があるが、地図アプリでは現在地が示されるため、現在地周辺に関しては周りの地形を見渡すことで解決できる。その際、「等高線が曲がる方向が逆転すると、尾根/谷も逆転する」ということを知っておくと便利だ。例えば

図7のような等高線があった場合、①が尾根なら②が谷、③が尾根。②が尾根なら①と③は谷。

石橋を巡り手付かずの自然を楽しむ

ギリシャ・ヴィコス溪谷のハイキング

和食昭夫／新日本スポーツ連盟会長



最初の石橋。18世紀から19世紀にかけて熟練の石工によって作られ、1970年代初めまでは現役だった



ギリシャといえば、まずは古代オリンピックと民主主義の理念の発祥の地、アテネのアクロポリス、そして、サントリーニ、ミコノスなど紺碧のエーゲ海と真っ白な建物の島々。緑の少ない山肌広がる乾燥したオリブ畑。これがイメージだ

が、今回の私たち夫婦の旅ではちょっと違ったギリシャを体験した。

首都アテネから北西へ450km、アルバニア国境に近いイオアニナ市の近くにあるザゴリ地域。ここには、ギネスブックに世界一深い谷として認定されたヴィコス溪谷もあり、2500m級の山や川と緑の多い地域だ。この地域の村は、独特の石造りの建物があることで知られ、近年、トレッキング、ラフティング、マウンテンバイクなどの隠れた人気スポットとして、ヨーロッパ各国から人が訪れているようだ。

2019年9月17日から27日の旅程中、24日にザゴリ地域で川沿いの森林コースのハイキン

グを計画した。ここまで来る日本人観光客はきわめてまれであり、いつもお世話になっているアテネの旅行会社には地図も資料もない。現地イオアニナのガイド会社のホームページからの情報と、数少ない日本人の訪問者の投稿記事を頼りに、予定と予算を立てた。日頃、週1〜2回、卓球はやっていてもハイキングは全くご無沙汰。体力的にも不安を感じるこの頃であり、余裕のある日程と現地のプライベート・ガイド付きとした。結果的にはこの余裕が役立った。前日夜から大雨と激しい雷が朝まで続き、1日延期して出かけた。

5つの石橋とザゴリの森 手付かずの自然

当日は、真っ青なギリシャの空。これ以上ないハイキング日和。朝8時にホテルを出て、私たちは2人だけに乗せたマイクロバスは1時間かけて、出発・集合地点のピーキ村の広場に到着。ガ

清流には「自然のプール」もあり、夏なら泳げる



サフランは紫の花が多いが、黄色い野生のサフラン（クロッカス）

イドのバシリスさんと合流した。今回は、5つの石橋とザゴリの森を訪ねるコース。ザゴリ地方には46の小さな村々があり、石橋が村と村を結ぶ大切な道だったとのこと。キーピ村を出発しヴォイドマティス川に沿って歩き、すぐに一番目の石橋に遭遇し

その後、川から少し離れ、上り下りのある小道を歩き、野生の花やハーブ、赤く実ったグミや野生のイチジクなどを見ながらゆったりと歩き、二番目、三番目の石橋を巡る。小道には、野生のシクラメンの群生があったり、黄色のサフラン（クロッカス）が咲いていたり、このエリアは、緑と水、奥深い山と谷、手付かずの自然いっぱい。バシリスさんによれば、熊も生息しているとのこと



五つ目の石橋そばの岩壁がクライミングのトレーニング場になっていた

（ス）が咲いていたり、このエリアは、緑と水、奥深い山と谷、手付かずの自然いっぱい。バシリスさんによれば、熊も生息しているとのこと。実際にコースの途中で熊の糞を見つけて教えてくれ、びっくりした。四つ目の石橋まで歩いて、五つ目の石橋まで歩く。バシリスさんは31歳。彼のおじいさんは102歳で、まだまだ元気だそう。地元生まれ地元育ち、この自然が大好きだと語ってくれた。石橋の下を流れる川には、雨水と共に湧き水も注いでいて、とても透明度がある。3時間余りのハイキングは、疲れもそれなりだったが、バシリスさんの気遣い、絶景と豊かな自然のおかげで大満足。再度訪れ、ヴィコス渓谷へチャレンジしてみたい。



四つ目の石橋。ビュウ・ポイントでバシリスさんが撮ってくれた。（写真には入っていないが）後方に2500m級の山々を望める



この地域では、橋だけでなく民家や教会なども石造り。民宿もある

◇ギリシャ旅行全般の旅行社
（日本人スタッフ対応）
アテネのマリソル・ツアー
（MARISOL TOURS）
E-mail：Marisol@travelling.gr
◇現地トレッキングガイド手配旅行社
イオアニナのアルモニア・トラベル
（ARMONIA TRAVEL）
<https://armoniatravel.gr/>

カリガンダキ周辺の河川敷に広がる温泉郷の気は、その豊富な湯量にあるとあってよい。ブルング温泉も活断層温泉とは思えぬ湯量に圧倒される。世界的にその名をとどろかせたアンナプルナI峰（8091m）とダウラギリI峰（8167m）に挟まれた河川敷に温泉郷が存在している。他の温泉と比較にならないほどの大きい湯槽に溢れんばかりの湯殿がいくつもあ

る。ここでは誰もが、自然からいただく恩恵に感謝しながら入湯し、疲れた身体を癒してくれる湯花満開の地なのである。

河口慧海も味わったであろう温泉

この温泉郷は、1898年から1915年にかけて二回の苦難に満ちたチベット行きを完遂した日本人僧侶の河口慧海が歩いた道沿いにある。彼は西蔵仏教を極めるためには原典から学



ネパール屈指の湯量を誇る温泉地

ブルング温泉

(Bhujung Tatopani)

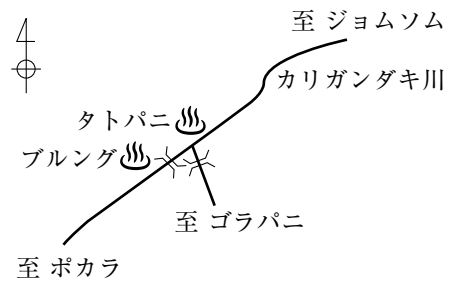
ぶ以外にないと考え、本山のあるチベット・ラサ行きを決行したのである。1898年に神戸港を出発し、当時鎮国下にあったチベットに潜入するためにラマ僧に身を変えてタージリンでチベット語を学んだ。カリガンダキを北上しながらドルポを経てヒマラヤを越えて、1900年に聖都ラサへ日本人として

初めて潜入に成功した。そんな苦難に満ちた旅を続けた慧海も浸かったであろう浴槽からの景色をぜひ望んでいただきたいと思っている。

タトパニ温泉から歩いて3分

ブルング温泉は、観光客もよく訪れるタトパニ温泉のロッジ

から歩いて3分ほど。源泉は摂氏64・2度もあるが、バスタブでは43・7度の適温に調節されているので、身体が浮くような感覚である。それもそのはず、毎晩その日の湯を捨て入れ換えられていることから新鮮な湯に浸れると評判の良い湯槽なのである。外国人からは湯殿の管理費として150ルピーの入湯料を徴収している。銭湯並みの設備が揃っている。アンナプルナトレッキングの締め括りに湯に浸れば、疲れを洗い落とすことができ回復の効果は間違いない。



ネパール温泉紀行

石原裕一郎 杉並山の会/東京

vol.90

筑井孝子の絵を千苗にう



●ここがポイントをおぼえると
絵がうまくなるよ

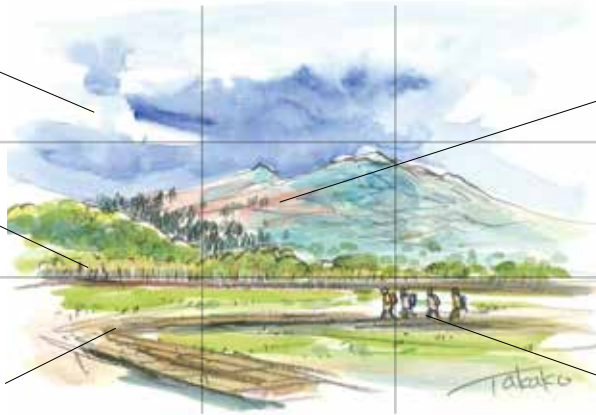
暖色・寒色を覚える

●空は一回で描きます。
雲は紙の色をそのまま
で表現します。

●白樺の木は「ダーマ
トの白」で描きます。
そうすると幹の様子
ができます。



●道は「つ」の字のよ
うに始まりのほうは
横にしてみると遠近
感ができます。



●絵の中には「暖色」
「寒色」を入れましょ
う。暖色は「赤・オ
レンジ・黄色」。寒
色は「紫・青・青緑」
のイメージです。暖
色寒色暖色寒色とサ
ンドイッチのように
しましょう。

●人物や地平線は「3
分の1」のところ
に書くとバランスが
いいです。



あらかると

山の寄生花

石井光造

夏になっても、落ち葉が覆っている道端に白い透明な花を見つけて、驚いたことは意外と多い。ユウレイタケとかオバケタケともいわれるギンリヨウソウである（右写真）。寄生植物として知られている。最近知ったことだが、繁殖を手伝っているのが山に棲むゴキブリで、昆虫が媒介するのは珍しいという。ギンリヨウソウモドキもあって、これは秋に透明な花を見せる。

オバケタケが開いたような透明な赤いシヨウキランは、二回しか出会っていない（中写真）。思ったより少なく、貴重な花で、これも寄生植物。シヨウキというのは、鍾馗様の赤顔からの名らしい。ラン科植物だが、ギンリヨウソウはツツジ科。

名前は知っていたが、会ったのは一度だけというのが、ナンバンギセル（左写真）。三宅島の雄山で火口の原のススキの根元に咲いていた。噴火で、なくなってしまったか。形が南蛮煙管。花言葉は「物思う」で、秋らしいが、三種とも七月から八月に出会うことが多い。

No.222

コロナ時代の山登り

笹原芳樹

元カモシカスポーツ本店店長

モンベルの防護服提供の新聞記事



当時テレビでも報道されていたのを見た方々も多いのでは。「すばらしい〜!!」と思う。

折りたたみ式のストックのメンテ



赤○印部の接続部と伸縮部にシリコンスプレーを少しするだけでかなりスムーズな動きになる。

昭文社の山地図の新刊



1972、1994、2018年の同地域の地図だが、登山道などモロモロの内容がかなり変化しているぞ。紙面上、中をお見せできないのが残念！ 見ればビックリだよ。

新型コロナウイルスは、山の世界はもちろん全世界の様相を一変させてしまいました。今、7月号が読まれる時期には最初の緊急事態宣言が解除されて自由に山登りができている事を祈ります。(近場の日帰りは良くても、ハイシーズンの有名どころの山小屋などは厳しいかもなあ。ワクチンができたとしても、このウイルスとは長い付き合いになるのでしょうかね。)

山にも行きづらい中、良いニュースもありました。アウトドア用品国内最大手のモンベル社の辰野会長が不足している医療用防護服を作製し無償提供を始めたとのこと。それもテットの民族衣装をヒントに、ひもを後ろから肩に回して袈裟(けがさ)がけに結び、後ろに手を回さずとも着脱できるというオリジナルなもの。素材はシユラフカバー用の透湿防水地使用で、20回程の再利用ができるという登山家ならではの作品です。私個人的にはアベノマスクを寄付する程度しか考えていませんが、このニュースは同じ山を愛する者として、とっともうれしく思いました。

前よりは行きづらいでしょうかね。そこで、山に行けない時をどう過ごすのか、私は考えました……。今後のため山の計画を色々と立ててみるなんて夢がふくらみませんか？ 今までの写真整理なんかも良いでしょう。私的には山道具のメンテナンスを徹底的にやることをオススメいたします。

例えば「シユーズ」アッパー(本体)はもちろん、靴底もキレイに洗ってください。「インソール」だつて引き抜いてきれいにしますか？ 「折りたたみ型のストック」の接続部や伸縮部にはシリコンスプレーをすね。

それなりに山に関して、町でもできる事は色々ありそうです。



大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ出来る品揃えと接客サービスで安全快適な山行をサポート。



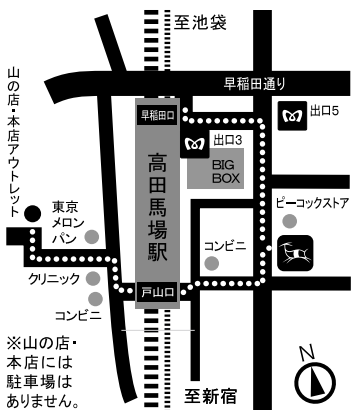
美味しいコーヒーと選りすぐりの登山用品。
山が大好きなスタッフ。カモシカのお約束。

カモシカ 通販

\オンラインショップ24hrオープン!
こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

山の店・本店

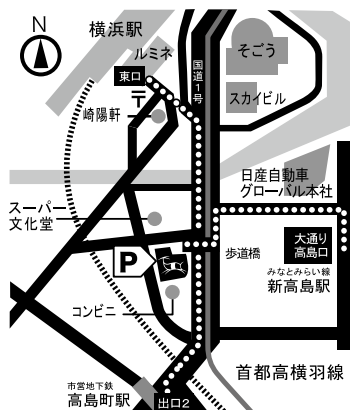
JR高田馬場駅から徒歩3分



※山の店・本店には駐車場はありません。

山の店・横浜店

JR横浜駅東口から徒歩5分



山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店

カモシカスポーツ

OPEN 11:00(松本店のみ10:30) CLOSE 20:00(月~金)/19:00(土・日・祝)

- 山の店・本店 TEL03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウイスポーツビル1F
- 山の店・松本店 TEL0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

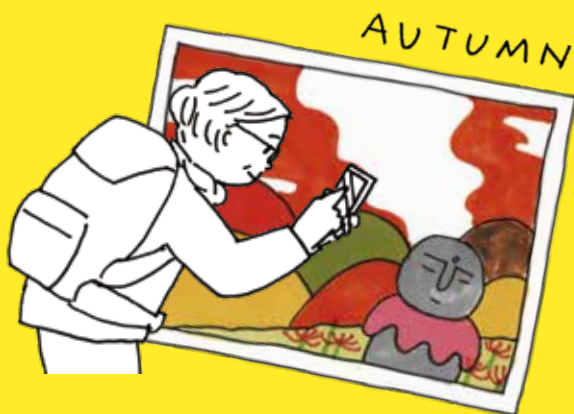
2021年版

登山カレンダー 写真募集

6月30日(火)まで

今回も登山会員の写真でカレンダーをつくりま
す
地元の山、雪山、高山、地域性の垣間見える写
真
草花、水、山小屋、登山者のある風景：
たくさんのお応募をお待ちしています

カレンダー仕様
B4判・中綴じ二つ折り
※写真はヨコ位置、
257mm×364mm(最大寸法)内で使用



応募規定

資格 登山会員
点数 一人10点まで
作品 合成は不可。データは1000万画素以上
期日 6月30日必着

選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点
※採用作品には謝礼をお支払いします
選考：小松由佳さん(フォトグラファー)

応募方法

ネットから
手軽に

WEB 応募

専用サイトは <https://form.run/@photo-JWAF>



郵送

CD-R 又は USB で送付。フィルムカメラでの作品はデータを CD-R 又は USB に入れるか、A4 サイズのプリント写真で送付。氏名・所属会・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名(山域)・撮影年月日を明記してください。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った封筒を同封してください。

1987年3月23日第三種郵便物認可
2020年6月15日発行(毎月15日発行)
第46巻第7号(通巻545号)

発行 日本勤労者山岳連盟

振替口座 0012008108163
口座名 登山機関誌委員会

定価 310円(送料別)
【禁断転載】